

2021 年度環境・社会・ガバナンスに
関するレポート



目次

3	CEOからのメッセージ	9	環境サステナビリティ	37	社会的責任	57	ガバナンスと説明責任	71	レポート
5	会長からのメッセージ		環境サステナビリティと ネットゼロ社会への アプローチ		企業文化の近代化とダイ バーシティ、エクイティ、 インクルージョンの推進		コーポレートガバナンス 誠実さと倫理 職場の安全性		国連の持続可能な開発目標 GRI インデックス SASB インデックス TCFD インデックス 環境データ
6	会社概要		ネットゼロオペレーション の推進: Emerson の環境保護		従業員エンゲージメント 研修と能力開発		サプライチェーン サイバーセキュリティ		
7	一目でわかるレポート機能		基幹産業におけるネットゼ ロへの挑戦: Emerson による 環境保護		従業員の能力開発 業界の管理				
8	当社の目的		ネットゼロ社会に向けた コラボレーション: Emerson との環境保護		企業の慈善活動 STEM 教育				99 本レポートについて

利害関係者の皆様へ

この1年は変革の始まりの年となりました。



私がCEOに就任したとき、卓越した企業文化を育むこと、業界トップのポートフォリオを変革すること、長年にわたりEmersonの長年の特徴であるクラス最高の遂行力を引き続き推進することを最優先させました。Emersonが環境、社会、ガバナンス（ESG）の問題でリーダーシップを発揮するための取り組みは、これらの分野での最優先事項でした。

EmersonのESGに対する取り組みは、「より健康で、より安全で、よりスマートで、より持続可能な世界を構築するためのイノベーションを推進する」という私たちのグローバルな統一目的を反映しています。86,700名の従業員は、今ある効率化や改善の可能性を認識するだけでなく、会社や世界の明日の姿をイメージしながら、この任務を遂行しています。

環境サステナビリティへの取り組み

科学関連の最新レポートでは、気候変動に関する緊急性や、パリ協定で定められた目標の達成が絶えず叫ばれています。私たちは皆、こうした取り組みにおいて役割を担っています。

2021年、Mike Train氏が最高サステナビリティ責任者に任命されました。最高経営責任者の一部であるこの役職は、全社的なサステナビリティへの注力を反映しています。彼のリーダーシップの下、Emersonは大きく前進しました。お客様やサプライヤが環境目標の達成に向け取り組む中、私たちはリーダーとしての立場を強化しています。

事業遂行と卓越性への長年の取り組みの一環として、私たちは、グローバルなビジネスリーダーとして、具体的で持続可能なビジネス慣行を推進し、世界中のお客様が同じように行動できるよう、自らの役割を果たすことに引き続き尽力していきます。

ネットゼロ排出目標

Emersonでは、2021年を基準値として、2045年までにバリューチェーン全体で温室効果ガス（GHG）排出量ゼロを達成するという壮大な目標を設定しました。また、適切に方向性を定め、2021年を基準値として、2030年までにバリューチェーンでのネットゼロオペレーションや25%排出量削減を達成することを目標とします。社内での脱炭素化から得られる貴重な教訓により、排出量削減が推進され、お客様、サプライヤ、パートナーに大きな影響がもたらされることになるでしょう。

社会的問題の解決への貢献

業界や地域を越えて事業を展開するグローバル企業として、私たちのテクノロジーやイノベーションの原点は、人々の生活向上を支援することです。この分野の進歩は、私たち自身の社内から始まるのです。

誰もが歓迎され、信頼され、賞賛され、力を与えられる文化を創造することは、正しいことであるだけでなく、私たちが価値を創造するための最良の方法なのです。Emerson では、今日の従業員のニーズと期待に応え、当社の繁栄に貢献する人材を獲得できるよう、職場の近代化に取り組んでいます。

2021 年には、2030 年までに世界の女性と米国の少数民族のリーダーシップレベルの代表を倍増させるという目標を導入しました。また、従業員を支援し、従業員エクスペリエンスの強化に向けた取り組みを主導するため、Elizabeth Adefioye 氏を Emerson 初の最高人財責任者に任命しました。彼女のエネルギーと新鮮な視点は、当社の人材と企業文化の課題が当社の意欲的なビジネス目標とグローバル戦略を確実にサポートするのに役立つことでしょう。

また、私たちは、生活と仕事の場であるコミュニティに前向きな変化をもたらすことに尽力しています。特に教育は重要な分野です。教育は、恵まれないコミュニティやマイノリティ層にとって大きなチャンスを生み出す触媒となり得るからです。私たちは現在、特に子供と青少年の育成に重点を置

いて、教育格差という重要な問題に取り組む団体に、今後 10 年間で 2 億ドルを寄付することを約束しています。この取り組みでは、あらゆる人に公平な未来を創るという私たちのビジョンを明確に示すものです。

強力なガバナンスへの取り組みを強化

ガバナンスと遂行力は、130 年以上前の設立以来、Emerson のアイデンティティの基盤となっています。私たちは、総報酬に関する議論やプログラムを含め、ESG の優先事項を組織のさまざまな側面に取り入れるために、常に体制やポリシーの評価を行っています。

当社のガバナンス施策におけるコンプライアンスと倫理的行動の重要性を強化するため、最高コンプライアンス責任者の Lisa Flavin 氏を最高経営責任者に昇格させました。Lisa 氏は、内部統制、財務報告、コンプライアンスのシステムを評価し、継続的に改善するための規律あるアプローチを維持するために貢献しています。

また、私たちの ESG の取り組みにおいて、強力かつ信頼できるパートナーとして機能してきた取締役会の指導を受けられることも、私たちの特権となっています。2021 年、James Turley 氏が社外取締役会長に任命されました。彼の Emerson での経験や財務、上場企業での勤務、経営陣のリーダーシップは、真の資産となります。また、取締役会では、3 つある委員

会のうち 2 つが女性によって運営されており、女性によるリーダーシップだけでなく、強力なダイバーシティを有するようになったことにも誇りに思います。

この場をお借りして、Emerson の取締役会や最高経営責任者、そして従業員とお客様に心から感謝申し上げます。今年の私たちの業績は、皆さん一人ひとりの意見、創造性、時間、努力の結集なくしては成し得なかったでしょう。そして、ESG を原動力として、企業文化、ポートフォリオ、業務遂行に取り組むことで、さらに多くのことを成し遂げることができます。グローバルな従業員の才能と情熱を結集すれば、私たちがお客様、業界、コミュニティに与えるインパクトはまさに無限大です。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



Lal Karsanbhai

代表取締役社長兼最高経営責任者 (CEO)

利害関係者の皆様へ

今年は Emerson の勢いが感じられる 1 年でした。



環境、社会、ガバナンスのトピックは会社や社会の活力においてかつてないほど重要なものとなっています。取締役会は、Emerson がこの分野の進展に新たに注力することで、活気づけられています。

取締役会は、会社の戦略を決定し、発展させるための重要なパートナーです。成長を促進し、顧客のニーズを先取りするために Lal 氏と提携する中で、私たちは特に環境計画に力を入れています。世界中のますます多くの企業が、サステナビリ

ティ目標の設定、対策、進捗を優先させるようになっているからです。

2020 年に発足した Emerson 環境サステナビリティ運営委員会では、Emerson の環境計画を強化するための行動を推進し、組織全体でベストプラクティスを推奨しています。この精神に基づき、同委員会は 2021 年、Emerson のサプライチェーンとエネルギー調達に焦点を当てた取り組みなど、会社のグローバルバリューチェーンを強化するためのワーキンググループの開発を継続しました。将来を見据えて、委員会は、Emerson のネットゼロ目標やエネルギー削減目標、主要なイノベーションを推進する取り組み、主要なグローバル気候フォーラムへの参加を支持します。

また、取締役会では、Lal 氏や会社のリーダーシップチームが主導となって、Emerson の従業員や企業文化のイニシアティブを取り巻く加速度的な活力を支持しています。ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンに対する取り組みは、取締役会にも反映されています。取締役会では、バックグラウンド、経験、専門性においてダイバーシティを持たせることに注力しています。2022 年には、取締役の 45% が女性か有

色人となっています。この 5 年間で取締役会の新たなメンバーは 6 名いましたが、うち 4 名が性別や民族的なダイバーシティを持った人物となっています。女性は取締役会で強力なリーダーシップを発揮しています。3 つある委員会のうち 2 つの委員会では女性が率いていたり、実行委員会では 2 つのポジションを兼任する女性がいたりします。

2021 年に Emerson が取った行動は、強力な ESG の基礎を築きました。今後数カ月または数年でこの戦略が展開されるにあたり、会社のパートナーとして引き続き役立てることを楽しみにしていることを取締役会を代表して申し上げます。

今後ともよろしくごお願い申し上げます。

James Turley
Emerson 会長兼取締役

会社概要

Emerson は、130年以上の歴史とともに、世界大手となる
基幹産業のお客様のために歩んでまいりました。

エネルギー、電力、ライフサイエンス、飲食料品、化学製品、冷暖房、プロ用ツールなどの分野におけるリーディングカンパニーから信頼されるパートナーとして、卓越した企業文化と世界水準のポートフォリオ、綿密な遂行力を兼ね備えています。

クラス最高の従業員が、卓越したテクノロジー、ソフトウェア、サービスを展開して、「より健康で、より安全で、よりスマートで、より持続可能な世界を構築するためのイノベーションを推進する」という私たちのグローバルな目的の達成を支援しています。

一目でわかる主な情報


St. Louis、
ミズーリ州
事業本部


170
製造地


86,700
従業員数


20,000
世界的な有効特許数
(2021年)

Emerson の事業や運用実績の詳細については、Emerson.com をはじめ、米国証券取引委員会の株主向け年次報告書、10-K 文書、SEC への追加報告書の最新情報にてご確認ください。

表彰

181 位
2021 年 米国企業収益ランキング
(Fortune 500)

298 位
2021 年 多様性に優れた
企業ランキング (Forbes)

12 位
Women Engineer Magazine の
トップ社員ランキング

100% のスコア獲得
2022年 企業平等指数より

2021 ESG 一目でわかるレポート

ネットゼロ目標

ネットゼロ GHG 排出量
(スコープ1、2、3)の目標期限

2045

科学的根拠に基づく整合的
なアプローチを採用

スコープ1および2 GHG 排出におけるネットゼロオペレーションと、スコープ3 GHG 排出量 25% 削減の目標期限

2030

2021 年を基準値として、ネットゼロ
オペレーションを達成

環境

2018 年以来、排出原単位に
おいて 17% 削減を達成

スコープ3 排出量フット
プリントを初めて全面的に達成

グローバルサステナビリティの取り組みを推進する新たな コラボレーション:

1.5°C、RE100、Race to Zero、Clean Energy Buyers
Association (CEBA) のビジネス目標

2030 年までに再生可能
エネルギーによる電力
供給 100% を目標

CDP 気候変動率を
B まで改善

Science Based Targets (科学的根拠に基づく目標設定)

イニシアティブにより、短期 GHG 目標が承認される



Mike Train 氏、Emerson 初の
最高サステナビリティ責任者
に就任 (2021 年)

社会

ダイバーシティ目標

2030 年までにグローバルリー
ダーシップの 40% を女性、米国
のリーダーシップの 30% をマイノ
リティ層とすることを目標



コミュニティサポート

今後 10 年間にわたり教育格差
のニーズへの取り組みに対して
3 億ドルを提供

Elizabeth Adefioye 氏、
2021 年、Emerson 初の
最高責任者に就任

従業員リソースグループ

Black Employee Alliance、LGBTQ + Allies、Somos、Veterans
Resource Group、Women's Impact Network

2021 年追加:

Asian & Pacific Islander Alliance、Mosaic、Diverse Abilities

ガバナンス

ESG 目標をリーダーシップ向け報酬プログラムに取り入れる



James Turley 氏
2021 年、社外取締役に就任

3 つある取締役会のうち 2 つの取締役会が女性リーダー

Lisa Flavin 氏 (最高コンプライア
ンス責任者)、2021 年に最高
経営責任者に就任



取締役会の 45% が女性または有色人

当社の目的

より健康で、より安全で、よりスマートで、より持続可能な世界を構築するためのイノベーションを推進する。

目標は行動で示します。これは、グローバルな従業員の連携によって実現される集団的な呼びかけであり、利害関係者、コミュニティ、社会への確固たるコミットメントを強化するものです。

私たちは日々、世界中で有意義な変化をもたらしています。そして、私たちの目的と価値は、私たちがどのように意思決定し、行動し、対応するか的基础となる原動力となっています。これらは、組織としての方向性を示し、企業文化を反映し、世界を舞台に社会をリードする基盤を確立するものです。

私たちが求めること



私たちは、効率性を向上し、排出量を削減して、資源を節約する持続可能なソリューションを提供します。



私たちは、健康、快適さ、食品の品質、安全性の向上に努めています。



私たちは、お客様の技術面、規制面、経済面における複雑な問題に対処できるようリードします。



私たちは、信頼とサポートに基づく環境を育みます。



私たちは、次世代のクリティカルシンカーと問題解決能力を有する人材を育成するSTEM（科学、技術、工学、数学）教育やプログラムを推進します。

当社の価値観

誠実さ

当社では、誠実かつ倫理的な行動においては妥協することなく、お客様、サプライヤ、コミュニティとの信頼関係を築いています。

安全・品質

当社では、自社とお客様のために、最高水準の安全と品質を約束する取り組みに全力を尽くしています。

従業員のサポート

当社では、包括的な仕事環境において比類のない人材を発掘、開発、維持して、全従業員が自分の可能性を最大限に発揮できるようにしています。

お客様第一

私たちは、お客様の声に積極的に耳を傾け、ニーズを深く理解して、お客様の成功を確かなものにする独自のソリューションを提供します。

継続的な改善

指標やフィードバック、規律管理プロセスを指針として、常に事業のあらゆる側面の改善に努めています。

コラボレーション

地理的条件、プラットフォーム、ビジネスユニットおよび機能においてシームレスに連携して、広範な専門知識の活用を目指します。

イノベーション

新しいテクノロジー、機能、アプローチを精力的に追求して、お客様のために有形資産価値が高まるよう努めます。



環境サステナビリティ

環境サステナビリティと ネットゼロ社会へのアプローチ

Emerson では、環境サステナビリティ戦略を展開し、
世界各地で脱炭素化を加速しています。



わずか30年という期間でグローバル経済を完全に変革するには、前例のないレベルの集団的な決意、創意工夫、協力、取り組みが必要です。この変革の中核となるのは、製造業、運輸業、建築環境（住宅・商業）、食品バリューチェーンなど、社会に不可欠なニーズを提供するセクターです。これらの活動をサポートするエネルギーシステムは、さらに電化が進み、よりクリーンで、より再生可能なエネルギーへと大きく移行しています。

Emerson は、これらのセクターの低炭素エネルギーへの移行をサポートするための包括的な技術ポートフォリオ、確立されたインストールベース、そしてグローバルなリーチを有しています。当社の技術ポートフォリオは、再生可能エネルギー、原子力、廃棄物由来のバイオベースエネルギーなど、一次エネルギー生成のあらゆる主要な形態に対応しています。さらに下流段階では、世界の脱炭素化戦略の中核となる電子グリッドと分子グリッドの管理を最適化するために、当社の技術が活用されています。さまざまな産業や用途でエネルギー効率化を実現しています。エネルギー効率

化に伴うエネルギーと排出量の削減効果は、世界中の国や企業のさまざまなエネルギー移行ロードマップにおいて、期待されています。当社のテクノロジーは、排出量を直接測定・管理し、幅広いユースケースで電化を直接サポートします。世界が気候変動という非常に現実的な課題に直面している中、今エネルギー転換ソリューションの採用を加速し、Emerson の幅広いオートメーション能力を活用することで、ネットゼロの未来を現実のものとすることができると確信しています。

パリ協定の目標を達成するために、世界中の国や企業は、2030年までに温室効果ガス排出量を半減させ、2050年までにネットゼロ排出を達成しなければなりません。

Emerson のネットゼロ排出達成への意欲

Emerson は、自社がネットゼロ排出を目指すことは、より持続可能なビジネスを構築し、より持続可能な世界に貢献するための重要なステップであると認識しています。Emerson の目標が確固たるものであり、最新の気候科学に沿ったものであることを確認するため、科学に基づく目標の採用を推進する世界有数の組織である **Science Based Targets イニシアティブ (SBTi)** の **Net-Zero Standard** に一連の目標を合わせました。

Emerson は、2021 年を基準値として、**2045 年までにスコープ 1、2、3 全体で温室効果ガス (GHG) 排出量をネットゼロ** にする目標を設定しました。確固たるネットゼロを計画するには、GHG 排出量を 90% 以上削減する必要があり、削減できない残留排出物については、生態系の他の部分で高品質のカーボンニュートラルを行うことができます。

短期的には、同じく SBTi の Net-Zero Standard に従い、2030 年までにスコープ 1 および 2 の GHG 排出量に関するオペレーションにおいてネットゼロにすることを目標にしています。これらの排出量は、世界中の施設で消費するエネルギーに関連しています。この目標を達成するために、エネルギー効率、燃焼プロセスの電化、再生可能エネルギーの調達を引き続き推進していきます。これらの活動に関する詳細は、本レポートにてご確認ください。

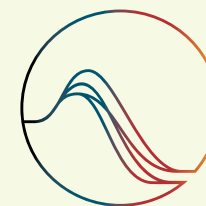


間接的なバリューチェーンにおいて、Emerson は、2030 年までにスコープ 3 の GHG 排出量を絶対的に 25% 削減することを目標としています。これには、購入材料やコンポーネント、輸送、流通から、お客様やエンドユーザー側で当社製品を運用するために必要なエネルギーと関連する排出ガスまで、広範におよぶ活動が含まれます。

スコープ 3 の排出量は、当社の直接的な管理の範囲外となりますが、Emerson はさまざまな方法でこれらの排出量の削減に影響を与えることができる立場にあります。自社製品の設計を強化し、GHG 削減の取り組みにサプライチェーンパートナーやエンドユーザーとなるお客様を巻き込み、政策立案者と協力して電気グリッドのグリーン化を推進し、重要なエネルギー転換ソリューションをより積極的に大規模に採用するよう働きかけることができます。

Emerson の短期目標は、Science Based Targets イニシアティブにより、パリ協定の目標達成に必要な水準と一致するものとして承認されています。

これらの目標を設定するために、該当するすべてのカテゴリにわたる完全なスコープ 3 排出量フットプリントの展開に多大な労力を費やしてきました。このフットプリントの展開に関する議論は、[22 ページ](#)で紹介されています。



科学的根拠に基づく目標

気候変動に対する企業の熱心な行動を推進

環境サステナビリティ運営委員会

Emerson の環境サステナビリティ運営委員会は、Emerson のグローバルなバリューチェーンにおける環境サステナビリティ関連の活動やイニシアティブを集中的に調整し、取締役会やリーダーシップチーム、世界中の社員の優先事項を結びつけるために積極的に活動してきました。

当委員会の役割は、Emerson の3つのフレームワークすべてにおいて環境サステナビリティのパフォーマンスを向上させるための戦略を提案し、支援を推進すること、また、グローバル組織全体でベストプラクティスを教育し、その使用を奨励することにあります。環境サステナビリティがビジネスに深く組み込まれるよう、この委員会ではすべての機能エリアが積極的に活動しています。この委員会には、Emerson の経営幹部と、ビジネス開発、戦略立案、法務、財務・会計、運用、IT、人事、マーケティングや通信、サプライチェーン、テクノロジー、エンジニアリング、IR（インベスターリレーションズ）の経営陣が参加しています。

2021年の委員会の活動内容は以下のとおりです：

- ネットゼロ目標とロードマップの開発およびサポート
- 部門横断的なグローバルチームを立ち上げ、スコープ3排出量フットプリントの包括的なモデル化と各カテゴリの脱炭素化戦略を展開します。

- エネルギー供給委員会を設立し、世界中で再生可能な電気と再生可能な天然ガスに関する Emerson のエネルギー供給機能を構築します。
- 製品のライフサイクルアセスメントプログラムを構築し、製品に含まれる炭素を把握し削減するための適切なツール、データベース、プロセス、リソースの特定を支援します。
- ベストプラクティスの情報交換、共通の目標とロードマップの作成、関連するカテゴリごとの具体的な削減ソリューションの推進を通じて、サプライチェーンや物流パートナーとの環境サステナビリティに関する連携を強化します。

運営委員会は、従業員エンゲージメント、顧客への影響の定量化、情報開示、データの品質と自動化、シナリオ分析、外部パートナーシップ、エネルギー転換の提唱などにも取り組んでいます。



環境サステナビリティ賞

今年、Emerson は、最もインパクトのある環境サステナビリティの取り組みを表彰する「Emerson 環境サステナビリティ賞」を導入しました。当社の産業用圧縮機事業である Vilter は、カナダ最大の電力会社である Hydro Quebec とのパートナーシップにより、今年 23 の応募の中から最初の受賞者となりました。この連携は、大型設備の大容量 CO₂ 冷却ヒートポンプシステムの開発と最終的な商用化を目的としたものです。このソリューションが、大規模な水力発電資源に支えられたグリッドに導入されれば、温室効果ガス排出削減の大きなチャンスとなります。



従業員の関与

Emerson は、従業員を積極的に巻き込んで、サステナビリティの取り組みと目標に対する認識を高めることを最優先しています。定期的に行われる従業員の環境保護と従業員による環境保護の会議では、グローバルチーム間の連携が図られています。また、全社的な環境サステナビリティハブや研修資料により、当社の事業とサービスを提供する業界全体にわたって持続可能な業務を推進するための幅広い取り組みに対する理解を深めています。

グローバル企業として大規模な変革を行うには、環境サステナビリティを経営プロセス全体に、ひいては企業文化のあらゆる部分に根付かせる必要があります。施設運営レベルでは、世界中のすべての主要拠点でサステナビリティチームとリーダーを任命しています。任命された従業員は、エネルギー使用量やそれに伴う GHG 排出量の削減、水使用量の管理や責任ある廃棄物処理に関する既存のプログラムなど、地域の環境サステナビリティへの取り組みをリードしています。

環境サステナビリティフレームワーク

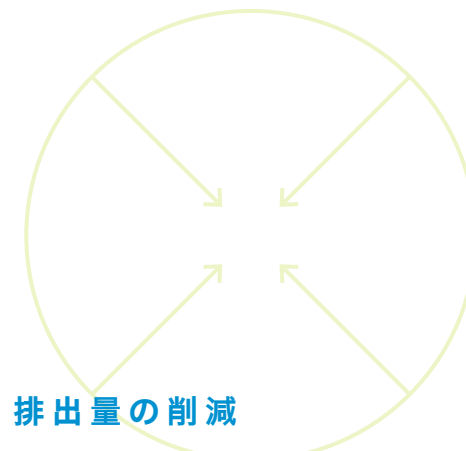
Emerson は、環境サステナビリティの取り組みを大きく 3 つの柱に分類したフレームワークを活用しています。Emerson の環境保護、Emerson による環境保護、Emerson との環境保護です。このフレームワークは、お客様、従業員、投資者、政府、コミュニティなどの利害関係者とのパートナーシップの中で、強く共鳴されています。次のセクションは、このフレームワークに沿って構成されています。

ネットゼロオペレーションの推進： Emerson の環境保護

Emerson は、グローバルなビジネス活動において、
社内の環境パフォーマンスの向上に取り組んでいます。



Emerson Dubai キャンパスでは、最近、敷地内に太陽光発電システムを設置し、1日の電力使用量の半分以上を賅うことができるようになりました。



GHG 排出量の削減

2019年、2028年までにグローバルな製造フットプリント全体で、2018年を基準値としてを20%削減（売上高換算のGHG排出量）するという取り組みを発表しました。エネルギー効率の改善を推進し、再生可能な電力供給を加速することで、目標達成に向けて着実に前進を続けており、現時点では当初の計画よりも早くこの目標を達成できる見込みです。

排出原単位

市場ベースの原単位（全施設の占有面積）



市場ベースの原単位（主要施設の占有面積）



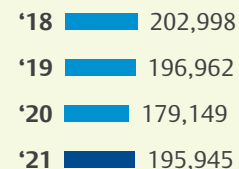
2018年を基準値として
GHG 排出原単位を17%
削減を達成

GHG 排出原単位は、スコープ1およびスコープ2（市場ベース）の売上高100万ドル当たりの二酸化炭素換算トン(mT CO₂e)で測定されます。

Emerson では、著しいエネルギー消費レベルの非製造施設を新たに含めるために、GHG 排出量の計算結果が更新されています。合計208の主要施設が、2021年度のGHG原単位20%削減目標の対象範囲となりました。また、過去のすべてのエネルギー消費データを徹底的に精査して、カーボンフットプリントのより正確な記録と開示に努めました。上記のポイントはすべて、2018～2020年度のエネルギー消費量および排出量データ履歴をレビューしたものです。

温室効果ガス排出量

スコープ1



スコープ2: 場所ベース



スコープ2: 市場ベース



場所ベースの排出量には、グリッド電気放射係数の平均値に購入電力総量を乗じたものを含みます。

市場ベースの排出量には、サプライヤ排出係数、純残留要因、再生可能エネルギーが含まれます。

GHG 排出量は、すべて二酸化炭素換算トン (mT CO₂e) で測定されます。当社のスコープ1および2の完全な排出量レポートには、製造および非製造施設（倉庫、物流センター、本社ビル、営業所、エンジニアリングセンターなど）、リース車両からの排出ガスや、漏出した冷媒からの排出ガスなど、当社のオペレーション管理内にあるすべてのサイトが含まれています。2021年度の温室効果ガス総排出量には、GHG原単位削減目標の対象となる主要なエネルギー消費施設208カ所と、Emersonの運営管理下にある残りの施設502カ所が含まれています。一次活動データが入手できなかった分については、稼働率、面積、敷地利用、その他の要素に基づいて推定しています。

2030 年までのネットゼロオペレーションの目標

2030 年までにネットゼロオペレーションを実現する取り組みでは、世界中の拠点でスコープ 1 および 2 の排出量削減に引き続き注力する必要があります。私たちは、オペレーションにおいて 5 つの主要な戦略を活用していきます。

2021

2030

2045

Energy Treasure Hunts によるエネルギー効率化の機会発掘

再生可能エネルギーによる電力調達と自家発電システム

電化・低炭素燃料

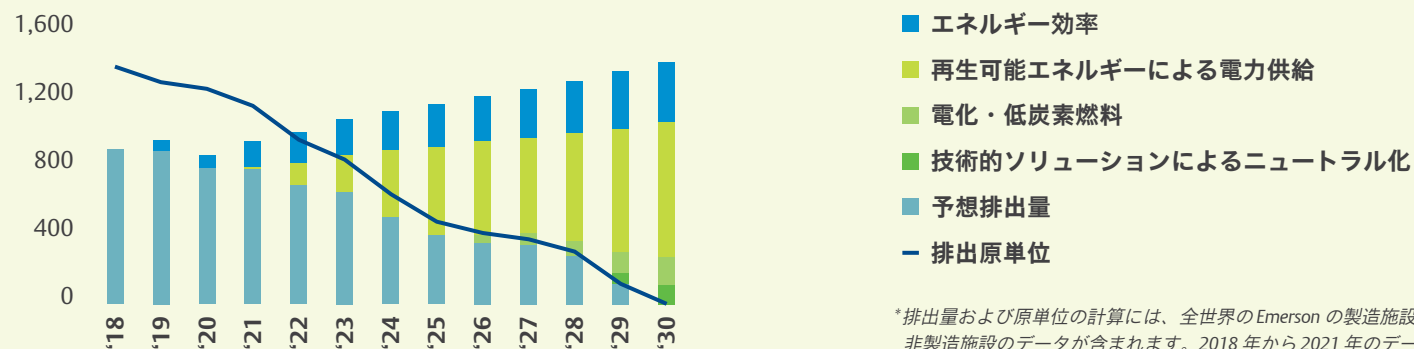
技術的ソリューションによるニュートラル化

環境コンプライアンスの遵守

ネットゼロオペレーション - 2030 年ロードマップ

この表は、2030年のネットゼロオペレーション目標に向けて、予想される排出量と、排出量削減のための戦略の影響度を示しています。

スコープ 1 および 2 の排出量 (単位: 1,000 mT CO₂e)



*排出量および原単位の計算には、全世界のEmersonの製造施設および非製造施設のデータが含まれます。2018年から2021年のデータは実際の排出量を表し、2022年以降のデータは推定値です。



非製造時間の現地検証で削減の可能性を探している Energy Treasure Hunt 参加者 (Marshalltown (アイオワ州) のフロー制御製造拠点にて)。

Energy Treasure Hunts によるエネルギー効率化の機会発掘

Energy Treasure Hunts は、当社のエネルギー効率向上への取り組みを強化するための大きな触媒となっていることが証明されています。これは、現地のサステナビリティチームが主導し、当社のエネルギー専門家が進行役を務める3日間のイベントです。初日は、生産量の少ない日の施設を調査し、エネルギー管理がどのように行われているかを理解することに重点を置いています。同じプロセスを生産量の多い日に繰り返し、エネルギーの流れと効率化の可能性について理解します。チームは、エネルギーと関連排出量を削減するための一連の具体的な取り組みを検討し、優先順位をつけることも

に、必要とされる可能性のある大規模な投資について特定します。

私たちは通常、Energy Treasure Hunt イベントで10~15%のエネルギー削減機会を特定し、2030年までにエネルギー強度を合計25%削減することを目標としています。また、これらのイベントは、他のEmersonの施設と共有できるベストプラクティスの確認にも役立っています。Emersonの各事業所は、エネルギー効率を経営指標に取り入れ、特定した機会を実行に移すための進捗を追跡しています。



ネットゼロオペレーションに向けて 前進する施設

Lebanon (ミズーリ州) の Copeland コンプレッサの事業所では、2021 年に Energy Treasure Hunt を完了し、いくつかの重要なエネルギー削減プロジェクトを実施しています。また、この施設では再生可能な電力を 100% 使用しており、ネットゼロ作戦の達成に向けて大きく前進しています。

再生可能エネルギーによる電力調達と自家発電システム

2021 年、Emerson は、再生可能な電力の機会を検討し、より積極的な調達に取り組むための中心的な役割を果たすエネルギー供給委員会を設立しました。このグループは、サステナビリティ、サプライチェーン、財務、法務の各職務の代表者で構成され、当社の事業と緊密に連携して、再生可能エネルギー購入の評価と実施に取り組んでいます。また、エネルギー市場に精通し、新たなビジネスチャンスを把握しているサードパーティのエネルギー専門家も活用しています。

このように焦点を絞った結果、2021 年には主要施設において世界の電力の約 4% を再生可能エネルギーで調達し、2022 年には約 25% に達すると予想しています。

特定の状況下では、オンサイトの再生可能エネルギー発電システムの導入を開始しており、今後もその可能性を評価していきます。アラブ首長国連邦の Dubai キャンパスでは、最近、大規模な太陽光発電システムの設置が完了し、1日の電力使用量の半分以上を賄うことができるようになりました。

電力使用量は、スコープ 1 および 2 の排出量の約 75% を占めています。2030 年のネットゼロオペレーションでは、契約電力源と自家発電設備から再生可能エネルギーを 100% 使用することを目標としています。

電化・低炭素燃料

スコープ 1 および 2 の残りの 25% は、主に製造工程や暖房用スペースでの天然ガスの燃焼に関連するものです。エネルギー効率化対策に加え、今後は、ガス炉やボイラーに代わるヒートポンプテクノロジーの活用など、燃焼式から電気式への転換の機会も検討しています。また、埋立地ガスやバイオダイジェスターなどの廃棄物から得られるガスによる再生可能天然ガス (RNG) の購入にも取り組んでいきます。

長期的には、電化できない高温プロセスでは、燃料として水素の利用を評価する予定です。また、ゼロエミッション車の普及に伴い、Emerson の自動車もゼロエミッション車に移行していく予定です。

技術的ソリューションによるニュートラル化

2030年までにネットゼロオペレーションを達成するためには、質の高いニュートラル化活動の実施が重要な要素となります。カーボンニュートラルには、大気中に排出された二酸化炭素を回収して技術的なソリューションによって地中に永久に貯留する、樹木や土壌など何らかの自然吸収源に炭素を貯留する、排出された炭素を建築資材など何らかの恒久製品として再利用するという3つのアプローチがあります。

企業のネットゼロ目標を達成するために、私たちは、オフセットが緩和努力に代わるものではなく、組織が削減できない残余の排出を除去するためにのみ使用されるべきであるという原則を支持します。企業は、永久的な除去を実現するニュートラル化に努めるべきです。私たちは、カーボンオフセットが一貫した高い品質レベルに準拠し、追加性や永続性などの要件が保証されるグローバルシステムの実施を支持します。

環境コンプライアンスの遵守

当社の環境コンプライアンス活動は、排気量管理、廃水コンプライアンス、責任ある廃棄物処理に重点を置いています。当社は、適用される環境法および規制を順守しています。環境情報は、共通の報告情報システムを通じて、各拠点から収集しています。

消費水量



世界中の当社製造施設から報告されたEmersonの水使用量（単位は米国ガロン）。
2021年の水使用量の増加は、水使用量を報告する施設が増えたことに起因しています。

また、当社は、汚染や環境破壊を防ぐことを目的に、全社的に標準化された一連のプラクティスを利用しています。これらのプラクティスは、リスクを最小化し、長期的な運営コストを削減することにもつながります。

当社の環境コンプライアンス管理アプローチには、製造拠点に対する包括的な監査プログラムが含まれています。サードパーティであるコンプライアンスコンサルタントが、当社の全社的な基準と現地の規制の両方に対して拠点を評価します。特定された是正措置は、終了まで追跡調査されます。

また、廃棄物処理業者についても、現場担当者またはサードパーティコンサルタントが定期的に監査を行い、適切なコンプライアンス要件が満たされていることを確認しています。

廃水管理と水質保全は重要な分野です。乾燥・半乾燥地域では、節水対策は必須となりつつあります。水の使用パターンは、削減の機会を特定するために評価されます。施設内の水インフラは定期的に点検しています。

環境問題を担当する施設の従業員には、研修プログラムを定期的実施しています。環境コンプライアンスの実績は、監査委員会に報告しています。



Energy Treasure Hunt を終えた Guadalajara のチーム。

EMERSON の従業員ができること： エネルギー効率の向上

René Cabera 氏は、メキシコおよび中南米のオペレーション担当コーポレートディレクターを務めています。2021年、René氏（右から2番目の膝立ちしている人物）と彼のチームは Emerson の事業所と連携して、Guadalajara、Mexicali、Chihuahua の3施設で Energy Treasure Hunts を実施し、各施設で平均 15% のエネルギー削減を達成しました。Emerson メキシコの他の施設や地元のサプライチェーン・パートナーの代表者も、学んだことを自分たちの拠点でも導入できるように Energy Treasure Hunts に参加していました。René 氏は、サステナビリティの取り組みを実施することは、エネルギー削減の重要性和地球へのプラスの影響について従業員を教育することであるとコメントしています。

2045 年までにバリューチェーン全体でネットゼロ

2045 年までにすべての分野でネットゼロを達成するためには、お客様、サプライチェーンパートナー、物流業者との認識を深め、協力し合う必要があります。私たちは、バリューチェーン全体で取り組むために、5つの主要な戦略を掲げています。

2021

2030

2045

スコープ3フット
プリントの
確立とデータの
品質向上・分析

製品のライフサイ
クルアセスメント
の活用

製品のエネルギー
効率向上

サプライヤの
アクティブ化

グリッドの
脱炭素化推進

スコープ3 フットプリントの確立とデータの品質向上・分析

スコープ3の排出量は、Emersonが直接所有または管理していない、バリューチェーン全体にわたる幅広い活動を対象としています。たとえば、サプライチェーンパートナーから購入するコンポーネント、製品の物流、オペレーションで発生する廃棄物、出張、従業員の通勤、そして最終使用場所である顧客で使用される際に当社製品が消費するエネルギーが含まれます。

温室効果ガスプロトコル（GHGプロトコル）は、企業や政府が排出量を測定・管理するための基準、ガイダンス、ツール、研修を提供するものです。GHGプロトコルが定義するスコープ3は、私たちが直接コントロールできない排出量ですが、バリューチェーンにおける私たちの位置づけから、これらの排出量に影響を与える機会はまだ残っています。たとえば、製品の設計を変更した場合、購入するコンポーネントに関連する排出量、これらのコンポーネントの使用に伴う排出量、製品のライフサイクル中でのエネルギー使用に関連する排出量に影響を与えることができます。また、Emersonの技術的な視点とグローバルなネットワークを活かして、セクター全体の排出量削減に影響を与えるような政策変更に関与し、提唱することも可能です。

2021年におけるEmersonのスコープ3フットプリントは別表のとおりで、これが今後の基準値となります。これは、当社の活動に関連するあらゆるカテゴリのスコープ3フットプリントを網羅したものです。スコープ3フットプリントは、その性質上、GHGプロトコルに記載されているように、サードパーティから提供された特定の前提条件とデータに基づくモデリング手法を用いた推定値です。

Emersonの場合、スコープ3のフットプリントは、下流のカテゴリ11「販売製品の使用」による排出が大部分を占めています。このカテゴリでは、まず特定の年に販売されたユニット数を定量化することから始め、製品の生涯排出量をモデル化します。これらの予想される排出量の定量化には、製品使用に伴う年間平均電力、年間平均デューティサイクル、推定平均寿命、使用場所（予測）に基づく電気グリッドの排出係数を推定する必要があります。当社の製品ポートフォリオでは、カテゴリ11の排出量の95%以上が、食品の安全性を保ち、食品の無駄をなくし、人々の健康を守るために世界中で加熱、冷却、冷凍用途に使用されている気候テクノロジーポートフォリオのコンプレッサに関連しています。スコープ3排出量のフットプリントとその他の排出量データは、[95 ページ](#)をご覧ください。

2021 年 スコープ 3 排出量の推計値

CO ₂ 排出量（メートルトン）	
購入した商品・サービスおよび資本財 （カテゴリ1および2）	2,049,500
上流燃料・エネルギー関連事業 （カテゴリ3）	163,000
上・下流 輸送・物流 （カテゴリ4および9）	803,000
オペレーションで生じた廃棄物 （カテゴリ5）	52,100
出張 （カテゴリ6）	19,200
従業員の通勤 （カテゴリ7）	155,000
販売製品の使用 （カテゴリ11）	588,000,000
製品寿命後の処理 （カテゴリ12）	150,000
スコープ3 排気量合計	591,391,800

スコープ3のカテゴリ10と15はこくわずかであり、カテゴリ13と14は該当しません。

当社の2番目に大きな排出カテゴリは、製品への動力として使用する材料やコンポーネント（カテゴリ1「購入した商品・サービス」）に関するものです。現在のモデル化のレベルは、世界中のさまざまなカテゴリや場所での消費量や関連する排出量係数に基づいています。いずれは、より重みのある情報をモデル化に取り入れることで、この情報の精度を向上させたいと考えています。また、戦略的なサプライチェーンパートナーと協力し、パートナー固有の情報を取り入れる予定です。同様のモデル化は物流、廃棄物、出張、従業員の通勤でも行われます。

製品の寿命を延ばすことは、廃棄物を減らし、資源を節約し、より持続可能な開発を支援するという意味で、より循環型経済への移行において重要な要素となることがあります。しかし、製品の最適な寿命を決定するためには、より包括的な視点が必要です。新しい製品の生産に使われるエネルギーと材料、処理の過程で生じる廃棄物は、新たなテクノロジー設計によってもたらされるエネルギー効率の改善や生涯排出量の減少の可能性とバランスを取る必要があります。



製品のエネルギー効率向上

世界中の中心的な基幹産業の大手企業が、当社のテクノロジーやソリューションを利用しています。私たちの製品の平均寿命は10～15年、中には20年を超えるものもあり、製品の効率性とサステナビリティが、この先何年にもわたって地球環境目標に影響を与える可能性があります。私たちは、これを当社の使命と認識して、製品ポートフォリオ全体でエネルギー効率の向上を推進し、エネルギー効率の向上と排出ガスによる影響の低減に関するますます高い基準をサポートすることに尽力しています。

サプライヤのアクティブ化

私たちは、世界中の戦略的なサプライヤを巻き込み、サステナビリティと二酸化炭素排出量の削減について意見交換を行っています。サプライチェーン全体で協力し、二酸化炭素排出量を削減するためのソリューションやベストプラクティスに取り組むことが必要です。鉄鋼、エレクトロニクス、プラスチックなど、私たちのサプライチェーンに含まれる多くの分野は、削減が困難な産業であり、よりクリーンなエネルギーの利用、リサイクル原料の使用、電化、高温製造工程での水素ベースのアプローチの開発などが必要となります。Emerson は、主要な購入カテゴリごとに具体的な削減ロードマップを作成し、サプライチェーンパートナーの認定と管理プロセスにおいてサステナビリティ関連の指標を使用する予定です。

グリッドの脱炭素化推進

化石燃料への依存度を下げ、クリーンエネルギーの利用を増やし、スマートデジタルテクノロジーを一体化することで、社会がエネルギーミックスを変化させる中、世界の電力グ



Emerson の従業員やサプライヤは、Aachen（ドイツ）で開催された第2回 Greening Together Summit に出席し、サステナビリティプログラムの実施に関するベストプラクティスについて話し合いました。

リッドは大きな変革期を迎えています。Emerson はすでに、自社でクリーン電力を購入し、風力、太陽光、水力、再生可能天然ガス、原子力の生産を最適化する技術で顧客をサポートすることで、前進を続けています。しかし、エネルギーグリッドをよりスマートで、低炭素で、より強靱なものにするためには、官民合同のさらなる取り組みが不可欠であることを私たちは知っています。

Emerson は、発電・配電分野におけるグローバルな存在感と独自の技術的視点を活かし、世界中の市場でよりクリーンな電力供給能力への道を積極的に支援・主張する立場にあります。これは、2030年までに当社のオペレーション範囲（スコープ1および2）でネットゼロ排出量を達成し、スコープ3の排出量を2021年を基準値として、2030年までに25%削

減するという当社の目標に重要な役割を果たすことになりました。私たちは、自社の脱炭素化ロードマップの実施から学んだ教訓を活かし、お客様、サプライチェーンパートナー、政府、地域のコミュニティに対して同様の排出量削減活動を働きかけていきます。

提言活動をさらに強化するため、Emerson は、Clean Energy Buyer's Association や RE100 などのサードパーティ組織と積極的に連携し、世界中で再生可能エネルギーやクリーンエネルギーの利用拡大を促進しています。

Emerson の環境保護は、将来を見据え、ネットゼロの世界に貢献するために、利害関係者にとって非常に重要なことです。

基幹産業における ネットゼロへの挑戦： Emerson による環境保護



ネットゼロ排出量の世界を実現するためには、今日の経済とエネルギーシステムのあらゆる側面において、国、企業、個人による非常に集中的かつ計画的な行動が必要となります。数十年という短い期間でエネルギーシステムを移行するという緊急課題は、エネルギーに関連するあらゆる主要な活動において、大幅なイノベーション、コラボレーション、投資、そして変革への決意を必要とします。たとえば、エネルギーを生成、管理、移動する方法、重要なサービスを提供するための建物のエネルギー消費方法、主要製品を製造するためのエネルギー利用方法、食料を供給する農業と食料システム、人と物資を運ぶための動力方法などです。Emerson のテクノロジーは、これらの重要なエネルギー関連活動のすべてに関わり、影響を与えています。

Emerson は、明日の低炭素エネルギーシステムのロードマップで検討されている重要なソリューションの多くを実現するためのテクノロジー、専門知識、活動力や推進力を持っています。当社のソリューションは、4つの重要な戦略的分野において、お客様の環境サステナビリティの進展を可能にします。エネルギー源の脱炭素化、電化とシステム統合、エネルギー効率と最適化、排出量管理です。

エネルギー源の
脱炭素化

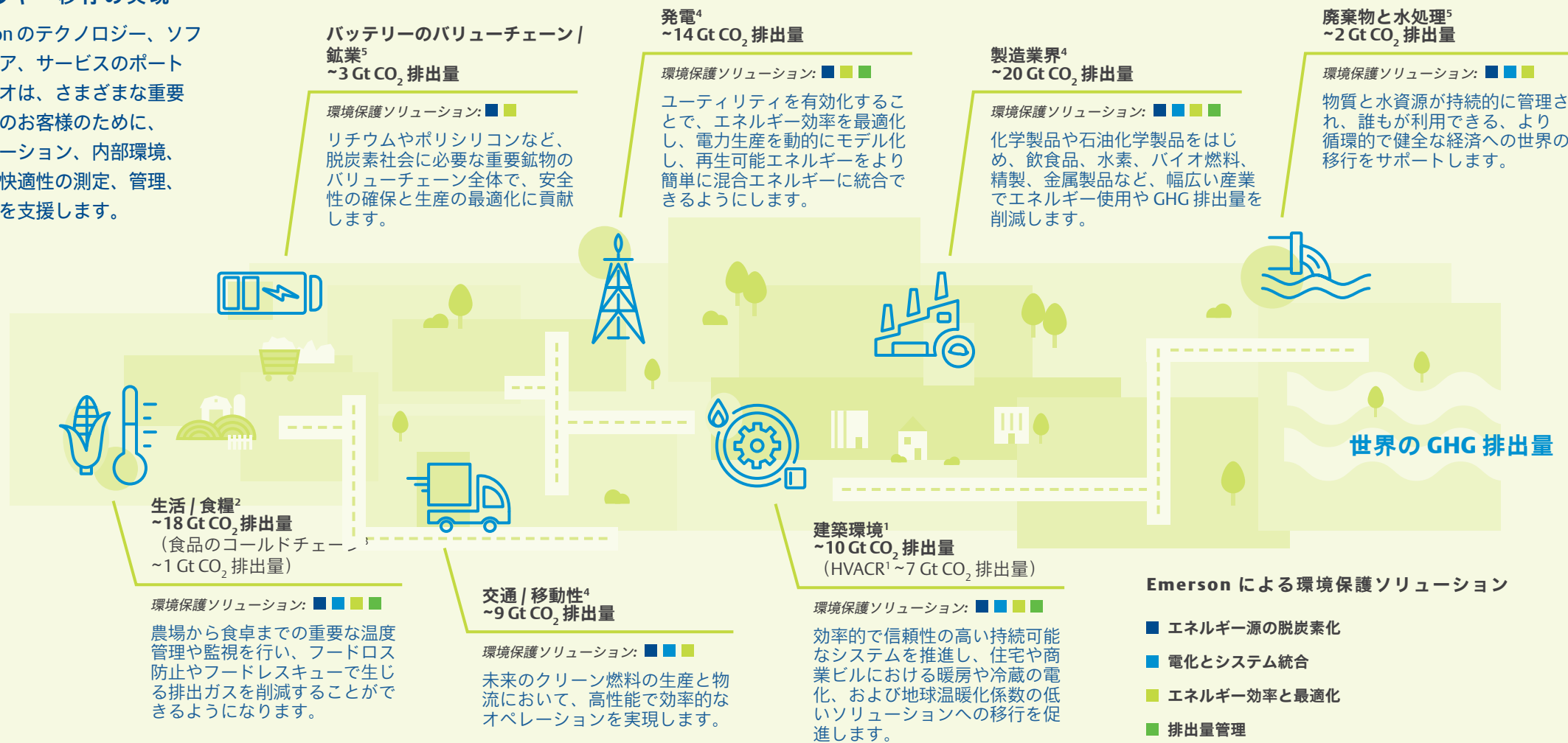
電化とシステム
統合

エネルギー
効率と最適化

排出量管理

脱炭素化とクリーン エネルギー移行の実現

Emerson のテクノロジー、ソフトウェア、サービスのポートフォリオは、さまざまな重要な業界のお客様のために、オペレーション、内部環境、人間の快適性の測定、管理、最適化を支援します。



図中の数値は複数のソースを参照したもので、世界の年間GHG排出量59 Gt CO₂の合計ではありません。発電（電気や熱の産生を含む）の排出量は、エンドユースセクターでの間接排出量として再配分されています。製造業における排出量は、エネルギー起源とプロセス起源の両方を含みます。建築環境における排出量には、建築資材からの具体的な排出量は含まれていません。

1. 『Global Status Report for Buildings and Construction 2019』
2. 『Food Systems are Responsible for a Third of Global Anthropogenic GHG Emissions』
3. 『The Food Cold-Chain and Climate Change』
4. 『WG III Contribution to the Sixth Assessment Report』
5. 『Emissions by Sector』

エネルギー源の脱炭素化

エネルギーシステムで最初に取り組みなければならない主要な分野は、より低炭素な一次エネルギーの供給です。陸上・洋上風力、太陽光、水力、地熱、原子力などのクリーンなエネルギー源は、GHG 排出を大幅に削減するために期待されています。石炭火力発電を天然ガスに置き換えることは、短期的には引き続き重要な戦略です。化石由来のエネルギーを、再生可能な天然ガス、バイオディーゼル、持続可能な航空燃料など、バイオ廃棄物を原料とするエネルギーで代替する動きが活発化し始めています。

感知、最終制御、圧縮、システム、分析における Emerson のオートメーション機能により、エネルギー生産者は安心してこれらのソリューションをネットワークにつなぐことができるようになります。無線のソリューション、デジタルツインシミュレーション、高度な制御アプリケーション、運用管理ソフトウェアなどのテクノロジーにより、既存のインフラを活用し、最高レベルの安全性、信頼性、エネルギー効率でのオペレーションが可能になります。

Emerson の影響力の一例として、Neste とのパートナーシップが挙げられます。Neste は、廃棄物や残渣を原料とした再生可能ディーゼルおよび持続可能な航空燃料を生産する世界最大の企業です。Emerson は、Neste のデジタルトランスフォーメーションや Tuas（シンガポール）にある製油所の拡張をサポートしています。Neste は、2023 年までに再生可能燃料の生産量を年間 130 万トン追加し、世界全体の再生可能製品生

産能力を年間 450 万トンに拡大する予定です。Emerson は、Neste が長期的に優れたオペレーションを実現できるよう、デジタルオートメーション機能の完全スイートを提供しています。

Emerson は Burns & McDonnell と共同で、New York Power Authority (NYPA) の 2,525 MW の設備容量を持つ Robert Moses Niagara Power Plant の大規模な近代化に向けて、自動化ソフトウェアと制御テクノロジーを提供しています。NYPA は米国最大の州電力公社で、16 の発電施設と 1,400 回線以上の高圧送電線を運営しています。水力発電設備は、NYPA が管理する発電能力の 70% 以上を占めています。

風力発電への投資

先日、Emerson は、風力発電の制御自動化テクノロジーの大手企業 Mita-Teknik を買収しました。この買収により、Emerson の風力発電市場における能力は拡大し、業務のデジタル化を目指す顧客を支援することができるようになりました。

エネルギー源の
脱炭素化

電化とシステム
統合

エネルギー
効率と最適化

排出量管理

電化とシステム統合

排出量削減のための世界的な主要戦略の1つは、従来は化石燃料の燃焼に依存していたエンドユースでのプロセスを電化することです。このプロセスが電化されれば、電力生成の時点でクリーン電力が生成されることになります。

たとえば、建物の脱炭素化では、従来の燃焼式暖房・給湯を、電動コンプレッサーを使った暖房・給湯・冷房が可能なヒートポンプシステムに変更することが大きなアプローチとなります。ヒートポンプシステムの普及を促進するための政策が確立され、世界中でヒートポンプシステムの利用が急増しています。国際エネルギー機関の2050年ネットゼロ排出シナリオでは、ヒートポンプの設置台数は2020年の約1億8,000万台から、2030年には6億台に達すると予想されています。Emersonのテクノロジーは、住宅、商業施設、大型施設、地域暖房のヒートポンプ用途に取り入れられています。

グリッドシステムを通じたエネルギーの配給も、エネルギーシステム転換の中核をなしています。Emersonの自動化テクノロジーは、発電と配電だけでなく、エネルギー分子の移動にも使用されています。今日の世界では、これらの分子は主に天然ガスや石油製品に関連しています。未来の世界では、再利用や永久保存される二酸化炭素の分子や、クリーンな水素を生成する電解槽で重要になる水素や水の分子も含まれるはずで、エネルギーシステムが新しい方法で統合されるにつれて、電子グリッドと分子グリッドの間の相互作用がますます重要になるでしょう。

低炭素で再生可能エネルギーが主流の電力システムの重要な特徴の1つは、大規模な蓄電池とエンドユースアプリケーションでのバッテリーの使用です。Emersonは、重要な鉱物の採掘、重要なコンポーネントへの鉱物の加工、バッテリーのアセンブリとシーリング技術、電気グリッド内外の大型バッテリーシステムの制御とリモート管理など、バッテリーのバリューチェーン全体に参画しています。

Emersonは、CMBluがこの種のものとしては初めて開発した有機レドックスフロー炭素ベースのバッテリーをサポートしています。このバッテリーのアプローチは、既存のバッテリー技術よりも効率的で拡張性があり、価格も手ごろです。電気自動車の充電インフラや大規模な蓄電池をターゲットとしたアプリケーションに重点を置いています。Emersonは、バッテリーのメンブレンシールの完全性を確保するために、Bransonの高度な接合技術を提供しています。

エネルギー源の
脱炭素化

電化とシステム統合

エネルギー
効率と最適化

排出量管理

エネルギー効率と最適化

エネルギー効率と最適化は、あらゆる面において重要なサステナビリティ戦略であることに変わりはありません。今日のエネルギーシステムに導入されたエネルギーのうち、実際に私たちが望む機能（家の冷暖房、車の移動、料理の調理）を果たすのは、3分の1程度に過ぎません。エネルギーシステムに導入されたエネルギーの3分の2は、窓から逃げる熱、自動車のブレーキ、長距離の電線ロス、さまざまなエネルギー変換、最適化されていないプロセスなどを通じて失われています。将来のエネルギーシステムを実現するために開発されたロードマップの多くに反映されているように、エネルギー効率の向上を継続する大きな可能性があります。

Emerson の AVENTICS™ 空気圧センサーや産業 IoT 対応のソフトウェアアーキテクチャは、圧縮空気の流れをリアルタイムで監視し、漏れの特異、空気圧プロセスの最適化、エアフローの効率化を実現します。これらのテクノロジーを使って圧縮空気システムを最適化した結果、Colgate は歯磨き粉と歯ブラシの包装ライン数カ所でエネルギー使用量を 15% 削減しました。このテクノロジーがより広く展開されれば、大きな効果が期待できます。

Emerson のテクノロジーは、さまざまな業界のエネルギー効率管理に活用されています。冷凍システムのエネルギー効率は、当社のお客様とパートナーにとって排出量削減の重要な推進力となっています。冷凍装置の効率をさらに向上させるため、当社は最近、スマートエレクトロニクスと新しい Dynamic Vapor Injection テクノロジーを統合した Copeland CO₂ 冷媒スクロールコンプレッサの新シリーズを発表しました。特に中小規模の事業所向けに設計されたこのテクノロジーは、CO₂ ブースターシステムの新しいソリューションを提供し、あらゆる気候で高効率を実現しながら複雑さとコストを削減することができます。

Emerson の Sensi™ は、2020 年、スマートサーモスタットとして初めてアメリカ合衆国環境保護庁の ENERGY STAR® Partner of the Year Award を受賞しました。そして翌年の 2021 年に再び受賞し、2 年連続での受賞となりました。Partner of the Year Award は、EPA によって贈られる最高峰の賞です。Sensi™ では、顧客が快適さを犠牲にすることなくエネルギー消費量を削減することを可能にします。Emerson は、北米全域の公益企業と Sensi™ サーモスタットを中心としたデマンドレスポンスのパートナーシップを結んでいます。

エネルギー源の
脱炭素化

電化とシステム
統合

エネルギー効率と
最適化

排出量管理

排出量管理

企業は、よりクリーンな代替エネルギーに投資する一方で、短期・中期・長期の排出量削減のための補完的な方法も探さなければなりません。排出量管理テクノロジーは、排出ガスの検知と測定、強化された装置を使用した排出ガス漏れの防止、より効率的な燃焼プロセスでの運用に活用されています。

Emerson の新たなバルブテクノロジーは、フュージティブエミッションを回避できる大きな可能性があります。高効率のステムシールシステム、大流量、温度変化に対応するパッキンなど、強化されたバルブ設計は、最も厳しい排出ガス規制を満たすか、それを上回るものです。さらに、圧力リリースバルブと貯蔵タンクの高度なリアルタイム監視は、排出を特定し、最小限に抑えるのに役立ちます。

二酸化炭素回収・有効利用・貯留（CCUS）のテクノロジーは、未来へのロードマップにとって重要な能力として生まれたものです。炭素を排出時点で捕捉し、製品に利用するか、地下の地層に安全に貯留することが、ネットゼロ排出量の世界を実現する上で重要になります。CCUSの設備は、政府や産業界が大規模な投資を行うことで、現在の数カ所から2050年までに2,000以上の施設に拡大すると予想されています。

QatarEnergy は最近、自社の液化天然ガス（LNG）施設の排出原単位を 25% 削減することを目指す、新たなサステナビリティ戦略を発表しました。Emerson との自動化パートナーシップを活用し、炭素回収・利用プロセスを開発する予定です。カタールは世界最大の LNG 生産・輸出国であり、二酸化炭素フットプリントを削減しながら LNG 生産量を 40% 増加させるため、大規模な拡張工事を進めています。

サステナビリティにインパクトを与えるソフトウェアの活用

Emerson が提供するソフトウェアは、環境サステナビリティの取り組みにおいて重要な役割を担っています。その結果、Emerson は IoT Breakthrough 誌の「Industrial IoT Company of the Year」に選ばれ、過去 5 年間のうち 4 年間、この栄誉に浴しています。Emerson の自動化テクノロジーやソフトウェアイノベーションにより、基幹産業のお客様が効率、安全性、排出量を改善し、環境サステナビリティの目標を達成するためにオペレーションを最適化できるよう支援します。

エネルギー源の
脱炭素化

電化とシステム
統合

エネルギー
効率と最適化

排出量管理

水素ソリューションの実現

水素は、世界のエネルギー転換のロードマップにおいて重要な戦略の一つです。電気と同様に、水素はエネルギーキャリアとして機能します。水素分子は他の一次エネルギーから生成され、輸送され、エンドユースアプリケーションに利用されます。Emerson のテクノロジーは、エンドユースケースだけでなく、水素の生成、輸送、分配のいずれにも大きく関わっています。

2021 年には、分散型水素ソリューションのイノベーターである BayoTech と協力し、北米と欧州のエンドユースケースにおける水素の利用を加速させるための取り組みを開始しました。Emerson は BayoTech の自動化パートナーとして、BayoTech の水素生成ハブのネットワークを遠隔管理するための制御システム、計測器、バルブ、オペレーションソフトウェアを提供しています。BayoTech は、天然ガスと再生可能天然ガスを使用して水素を生成し、移動や排出が困難なセクターの水素アプリケーションを可能にします。

大規模なグリーン水素発電のアプリケーションとして、Emerson は三菱電機と共同で、ユタ州の Intermountain Power Plant の改造に自動化システムを提供しています。この施設では、水力発電、風力発電、太陽光発電の電力を大型電解槽に供給し、水から水素を生成します。生成された水素は地下の岩塩空洞に貯留され、必要なときに発電用タービンに供給されます。初期段階では天然ガスとの混合水素を使用しますが、最終的には 100% グリーン水素に移行する予定です。これは、世界各国の政府がグリーン水素発電をロードマップに組み込んでいることから、戦略的なプロジェクトといえます。



BayoTech の水素発生装置は、米国をはじめ世界各地の水素ハブ拠点に設置されています。

Emerson は PosHYdon のコンソーシアムにも参加しており、オランダ領北海で Neptune Energy が運営する既存のプラットフォーム上に世界初のオフショアグリーン水素製造プロセスを構築しています。さらに、Emerson は、洋上風力発電、洋上ガス生産、海水を利用した電解槽からの水素生成という 3 つの重要なエネルギーシステムを統合する高度な制御システムを開発中です。生産されたグリーン水素は天然ガスと混合され、既存の輸送インフラを活用してオランダの供給網で使用される予定です。

革新的なブレイクスルーテクノロジーへの投資

Emerson は、初期段階の技術開発を支援するためのコーポレートベンチャーキャピタルイニシアチブである Emerson Ventures に 1 億ドルを投資することを決定しています。この投資コミットメントは、画期的な自動化のイノベーション、

重要な環境サステナビリティのソリューション、重要な産業で使用される新しい産業用ソフトウェアテクノロジーに重点を置いています。私たちの目標は、今後 5 年間にわたり、毎年 4~6 社の初期段階のスタートアップ企業に投資することです。

Emerson による環境保護は、重要な産業やアプリケーションが自動化の力と斬新なソリューションを活用して、低炭素エネルギーシステムへの移行を実現できるよう支援するもので、私たちが最も大きな影響を与えることができる場所です。気候変動の危機は現実的な課題であり、緊急性を帯びています。しかし、エネルギーシステム全体のプロジェクトにおいて、Emerson の視点と関与を考えると、世界が一丸となればネットゼロ排出は実現できるものと考えています。

ネットゼロ社会に向けた コラボレーション： Emerson との環境保護



Emerson は、独自の技術的視点とグローバルなネットワークを活かし、政府や政策グループ、研究機関、非政府組織、業界団体、コミュニティと協力し、より持続可能な未来への道筋を議論しています。こうした話し合いでは、イノベーション、政策オプション、斬新なソリューションの大規模な導入支援、ネットゼロの世界へのロードマップに不可欠な戦略策定など、重要な対話が頻繁に行われています。Emerson のコラボレーション活動は、3つの主要な戦略によって推進されています。

- 1 政府および政策グループとの連携
- 2 主要な研究機関とのコラボレーション
- 3 リーダーやコミュニティの結集

政府および政策グループとの連携

Emerson は、政府、業界団体、その他の主要な組織とのパートナーシップが、私たちが共有するサステナビリティの目標を達成するための鍵であると認識しています。

Emerson は、UK FIRES、IFM Sustainability Association、エネルギーエンジニア協会、EPA's Energy Star Partnership などの団体で積極的に発言し続けています。また、以下のような、コラボレーションと脱炭素化目標の達成に特化したいくつかの組織にも参加しています。

- **Business Ambition for 1.5°C** パートナーシップ。短期的な科学的根拠に基づく短期的な目標と、明確な長期的なネットゼロへのコミットメントの双方を約束する企業を特徴としています。
- **RE100** および **Clean Energy Buyer's Association (CEBA)**。100% 再生可能な電力を調達することを約束するグローバル企業を結集しています。
- **Renewable Natural Gas Coalition**。再生可能天然ガスの持続可能な開発、展開、利用を提唱しています。

EMERSON 欧州政策エンゲージメント

Emersonでは、主に欧州連合（EU）のGreen Deal（2050年までにEUをクライメイトニュートラルな大陸にすることを目的とした政策パッケージ）の一環として、欧州のさまざまな政策イニシアチブに積極的に関与しています。

Emersonは、より広範な採用の可能性を高めるために、実践的な検討事項や実施に向けたアイデアを共有することで、積極的かつ協力的なアプローチで政府との関わりを深めています。

Emersonは最近、EU委員会と2つの重要な立法案、すなわちエネルギー部門における漏出を防止するためのメタン規制と、水素および脱炭素ガス市場に関する政策パッケージについて協議を行いました。Emersonは、EUレベルの政策立案者や加盟国当局者と定期的に対話し、デジタル化、自動化、その他のEmersonで対応可能なソリューションがそれぞれのネットゼロ排出目標をどのようにサポートできるかを伝えるお手伝いをしています。

気候変動対策の加速に向けてのコラボレーション

南北アメリカ地域		ヨーロッパ		アジアおよび中東	
政府および政策	イノベーションおよび産業	政府および政策	イノベーションおよび産業	政府および政策	イノベーションおよび産業
米国冷凍空調工業会（AHRI）	Clean Energy Smart Manufacturing Innovation Institute（CESMII）	欧州クリーン水素アライアンス	EMB3RS Heat and Cold matching platform	Australian Hydrogen Council	南洋理工大学（シンガポール）
Carbon Management Canada	国立再生可能エネルギー研究所（NREL）	欧州ヒートポンプ協会（EHPA）	Resource Efficiency Collective	Emirates Green Building Council	インド資源エネルギー研究所（TERI）
Energy Policy Research Foundation Inc.（EPRINC）	オークリッジ国立研究所	欧州エネルギー・環境パートナーシップ（EPEE）	Sustainability Association	H2 Korea（Hydrogen Korea）	同済大学
アメリカ合衆国環境保護庁（EPA）	テキサスA&M大学	欧州原材料同盟（ERMA）	United Kingdom's Future Industrial Resource Efficiency Strategy（UK FIRES）	産業通商資源部（韓国）	清華大学
アメリカ合衆国エネルギー省	The Conference Board of Canada	France Hydrogène	ケンブリッジ大学	米印戦略的パートナーシップフォーラム	

主要な研究機関とのコラボレーション

アメリカ合衆国エネルギー省とのパートナー提携でエネルギー効率の向上を実現

Emerson は、米国エネルギー省の信頼できるパートナーとして、より持続可能な気候変動対策テクノロジーやエネルギー管理の開発を続けています。現在、オークリッジ国立研究所と共同で、新しいヒートポンプ構造、低コスト冷却メカニズム、地熱貯留・加熱などの用途でエネルギー効率を高める9種類のプロジェクトに取り組んでいます。

また、国立再生可能エネルギー研究所（NREL）とも提携し、建物や建築システムの運用効率に関する研究開発を進めています。NREL は、エネルギーシステムの回復力、効率、購入しやすさを強化するグリッドインタラクティブ建築テクノロジーの開発を進めています。

このようなパートナーシップにより、Emerson は建物のエネルギー管理、センシング、冷凍・空調などの分野における幅広い知識を共有し、未来を形作る革新的なソリューションや政策の開発で協力することができます。研究開発リソースを共有することで、このようなパートナーシップはより新しく、より持続可能なソリューションの市場投入を早めることができます。



Emerson Korea (KHIA) の水素装置委員会メンバーの集合写真。

水素の普及を加速

Emerson は、クリーンエネルギーソリューションとしての水素の普及に取り組む世界各地の水素グループやアライアンスに積極的に参加しています。これらのグループには、European Clean Hydrogen Alliance、Australian Hydrogen Council、CENELEC、Hydrogen Connection (Business France)、Norwegian Hydrogen Association、H2AR (アルゼンチン)、Korean Hydrogen Convergence Alliance (H2KOREA) などがあります。

2021 年、Emerson Korea は、The Korea Hydrogen Industry Association (KHIA) の水素装置委員会のリーダーに選出されました。この業務には、Korea Marine Equipment Research Institute との研究開発プロジェクトの主導、主要な水素ソリューションセミナーの開催、政策および規制アプローチの提唱、水素産業ハブを構築するための国の取り組みの一環として Ulsan (蔚山) 市の H2Town プロジェクトに参加することなどが含まれています。

業界の政策対話を促進

Emerson は、政府やお客様の意思決定をサポートするために、定期的に政策協議に参加しています。E360 イニシアチブを通じて、業界全体の対話を促進し、関係者間の協力を促し、暖房・換気・空調・冷凍 (HVACR) 業界が直面する実践的な実施課題に対処しています。

オーストラリアの重要なインフラを強化

Emerson は、Australian Hydrogen Council の Research Hub for Resilient and Intelligent Infrastructure Systems (オーストラリア研究評議会の耐障害性インテリジェントインフラシステム研究ハブ) と連携しています。この研究ハブは、オーストラリアの重要なインフラストラクチャのニーズに対応するため、変革的なテクノロジーを試験・提供する立場にあり、Emerson のモニタリングとモデリングにおける高度なソリューションを統合して、鉱業、ガス、水、エネルギーなどの主要部門におけるサステナビリティの成果を向上させています。

リーダーやコミュニティの結集

世界フォーラムで気候変動対策を提唱

最高サステナビリティ責任者の Mike Train 氏は、2021 年 11 月に開催された気候変動枠組条約締約国会議（COP26）で Climate Action が主催した Sustainable Innovation Forum に参加しました。COP26は、ネットゼロ排出を目指すパリ協定の気候目標に向けた行動の加速に焦点を当てた、これまでで最大の世界的な気候変動に関する会合でした。Mike 氏は複数のパネルに参加し、環境サステナビリティ目標に対する Emerson のアプローチについて議論したほか、削減活動が困難なセクター、エネルギー転換における中小企業の関与、ネットゼロ達成のための重要なソリューションと課題の探求など、気候関連の幅広いトピックについて説明しました。

EMERSON CLUJ キャンパス、サステナビリティの成長とイノベーションで15周年を迎える

2021 年、ルーマニアの Emerson Cluj キャンパスは設立15周年を迎え、ビジネスと従業員レベルでの統合的なサステナビリティアプローチを開始しました。この取り組みには、地域社会で環境への影響を軽減する行動を起こすための情報、ワークショップ、ディスカッション、ツールに従業員をつなげることが含まれています。活動としては、同僚が川岸の清掃などの地域イベントにボランティアとして参加したり、AIESEC-Youth Speak Forum に参加して、若者が気候変動について発言できるよう力を与えたりしました。

「脱炭素化、そして最終的にはネットゼロ排出への現実的で具体的な道筋はありますが、最終目標を達成するために必要なレベルに到達したいのであれば、現在利用できるテクノロジーやソリューションを採用する必要があります。」

— Mike Train 氏

Sustainable Innovation Forum での Mike 氏のインタビューは[こちら](#)からお聞きください。

Emerson との環境保護は、世界中の主要な利害関係者とのエンゲージメント、対話、提唱、拡大において重要な戦略となります。これらの議論は、初期の斬新なソリューションを大規模に展開し、技術的、経済的、政策的な課題と選択肢を学ぶための幅広い支持を構築するのに役立ちます。このような重要な初期段階のプロジェクトをより早く実現できれば、これらのソリューションがネットゼロ排出の世界の実現に大きく貢献するかどうか、またどのように貢献するかをより早く検証することができます。



COP26 の Sustainable Innovation Forum に参加した Emerson 従業員（左から）: **Dina Koepke** 氏（コマーシャル&レジデンシャルソリューションズ Governmental Affairs ディレクター）、**Rada Petrovan** 氏（オートメーションソリューションズ事業部 戦略的プランニング担当取締役）、**Mike Train** 氏（シニアバイスプレジデント兼最高サステナビリティ責任者）、**Veronica Constantin** 氏（グローバルサステナビリティ バイスプレジデント）、**Ana Gonzalez Hernandez** 氏（サステナビリティ取締役）



社会的責任

企業文化の近代化とダイバーシティ、 エクイティ、インクルージョンの推進

Emersonでは、従業員一人ひとりのユニークな経験や考え方が尊重される、ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンのある企業文化を築いています。



Emersonで追求する革新的なアイデアやソリューションには、豊かで多様な視点での意見交換が必要です。私たちは、社員が毎日、最も自分らしい姿で仕事に取り組み、ビジネスにインパクトを与えることができるような企業文化の構築に注力しています。人材への投資は、世界中でEmersonを成功に導くための鍵です。

グローバル組織として、従事するコミュニティのことを真剣に考えられる従業員を有することは、私たちの目的を実現するために重要です。2021年6月、当社は、2030年までに女性社員の割合をグローバルで40%、米国のマイノリティ層社員の割合を30%に倍増させるという長期的なダイバーシティ目標を発表しました。この目標は、当社が参入している技術業界にとって困難なものであり、当社の人材プロセスのあらゆる側面において、より強力な人材プールの構築、人材の育成、募集職種に対するDiverse Slates（多様性枠）の設定、指標の推進、進捗に対する報酬など、きわめて集中的かつ計画的な行動を必要とするものです。

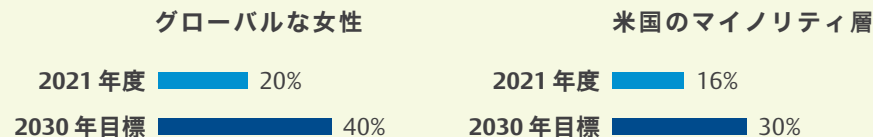
Emersonでは、真の変革には組織のあらゆるレベルでのコミットメントと持続的な努力が必要であることを理解しています。まず、社外求人トップから始めることにし、Elizabeth Adefioye氏を新たな最高人事責任者に任命しました。Elizabeth氏は、技術系の多国籍企業での豊富な経験を生かし、すぐにこのミッションに取り組んでくれました。

当社では、ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンに関する3つの戦略的目標を掲げています。

- 1 すべての従業員を包括するインクルージョンの環境の構築
- 2 女性やマイノリティ層の代表性の向上
- 3 DE&Iへの取り組みと業務効果の実証

現在の企業文化とプロセスを評価するために、幅広い見地からリーダーシップタスクフォースを招集し、企業文化の近代化に向けた重要なイニシアティブを確立しました。こうした視点を通して経営プロセスのあらゆる側面を見直し、より効率的で柔軟性があり、従業員の能力をより高めるような変更を実施しています。これらの変更は、オペレーショナルエクセレンスとコミットメントの実現というEmersonの強力な文化的要素をさらに強化するはずで

EMERSON ワークフォース・ダイバーシティリーダーシップの代表者



このデータセットでは、リーダーシップはディレクターレベル以上の個人と定義されています。グローバルデータは、当社の人事情報システムに含まれている国を反映しており、また基幹システムに移行されていない国（ベラルーシ、ドミニカ共和国、エクアドル、ラトビア、ルクセンブルグ、スコットランド、セルビア、スロバキア共和国など）は除外されています。また、最近の米国外での買収によって Emerson に入社した従業員も、データセットから除外されている場合があります。

対象とされるマイノリティ層: アジア人、アメリカ系インド人、アラスカ先住民、黒人またはアフリカ系アメリカ人、ヒスパニック、ハワイ先住民またはその他の太平洋諸島系アメリカ人、および複数人種。

女性やマイノリティ層の代表性の向上

Emerson の人材ニーズは、当社が事業を展開する業界を反映しています。Emerson は、革新的な製品、ソリューション、ソフトウェア、サービスの開発および製造に重点を置くテクノロジー企業です。ハードウェア開発、ソフトウェア開発、プロジェクト管理、オペレーション、サプライチェーン、財務、法務、営業、サービス、コンプライアンス、人事など、幅広い職務で人材を活用しています。こうした人材を Emerson に呼び込むことは、長期的な成功のために重要な戦略です。

米国の給与職の多様な人材パイプラインを拡大するため、多様な候補者を最低 50% 含む面接枠を企業目標として、Diverse Slates プログラムを構築し続けています。Diverse Slates の指標を追跡し、面接のアプローチにも多様な参加を呼びかけています。

さらに、Emerson の社内外から多様な候補者のプールを拡大するために、いくつかの取り組みを行っています。対象となる求人活動の取り組みは、次の通りです。

女性

大学や専門機関の採用活動は、工学や経営学修士の学位を持つ女性の人材にアプローチすることを目的としています。Emerson は、女性エンジニアの地位向上を目指す世界有数の組織である Society of Women Engineers (SWE) の強力な支援者、提唱者であり続けています。SWE カンファレンスやジョブフェアでは、女性のエンジニアを募集しています。

マイノリティ

Emerson のキャリアフェアでの採用活動は、新入社員や幹部候補としてふさわしい米国内のマイノリティ層の候補者を見つけることを目的としています。今年、Emerson は、HBCU Career Development Marketplace の年次キャリアフェアでゴールドスポンサーを務めました。Black Employee Alliance Employee Resource Group の主導のもと、Emerson の代表者が人材プールと直接つながり、Emerson で得られる充実したキャリア機会について募集・教育しました。

退役軍人

退役軍人に焦点を当てた当社の MBA 採用イベントや財団との提携は、退役軍人に軍務後の仕事の機会を提供することを目的としています。また、退役軍人、軍属、軍人の配偶者に有意義な雇用機会を提供するための全国的な取り組みである Hiring Our Heroes にも積極的に協力しています。

LGBTQ+

カンファレンス型の求人活動では、LGBTQ+ の人材雇用を目的としています。当社の LGBTQ+ Allies Employee Resource Group は、2021 年 9 月の Out for Undergrad Engineering Conference、2021 年 10 月の ROMBA Conference (Reaching Out LGBTQ+ MBA) に参加し、組織の全レベルで優秀な LGBTQ+ プロフェッショナルを採用することを目的としています。



ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンの尊重

新しい「DE&I Award」は、従業員一人ひとりが大切にされ、尊重される企業文化の醸成に貢献したグループや個人、事業部門を表彰することを目的としています。初回受賞者は、2019年に発足した Emerson Plant in Reynosa（メキシコ）の Disability ERG の従業員でした。ERG では、教育プログラムやコミュニティの奉仕活動イベントに加え、障害のある従業員への幅広い求人活動をサポートしました。

すべての従業員を包括するインクルージョンの環境の構築

Emerson では、真の変革には組織のあらゆるレベルでのコミットメントと持続的な努力が必要であることを理解しています。昨年、私たちは、包括的で強力、かつ革新的な企業文化を構築するための機運を加速させました。リーダーシップタスクフォースは、多様な人材を強化するための新しい目標とイニシアチブを確立するために、4カ月間の取り組みに参加しました。包括的な企業文化に焦点を当て、私たちは世界中の従業員に、違いを超えてつながることを奨励する新しいエキサイティングな方法で参加させました。

対話と表彰

「Courageous Conversations」は、ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンに焦点を当てた地域ごとのフォーラムで、社員とそのリーダーの間で開かれた対話を促進するものです。

また、対象者を従業員に限定した「DE&I Award」を新設し、組織全体の DE&I に大きく貢献したグループ、個人、事業部門を表彰します。

従業員リソースグループ

過去数年間、私たちは従業員リソースグループ（ERG）を強力なネットワークとして構築し、インクルージョンの重視をサポートしてきました。これらのグループは、会社や地域レベルで、組織全体から集まった熱心なボランティアが主導し、エグゼクティブ・リーダーシップによって支援されています。また、これらはゼロから組織的に構築されたグループですが、今では約 12,000 名を有する組織に成長しています。

Emerson の ERG リーダーは、年 1 回の数日間にわたる ERG Leadership Summit に集まり、イベント開催、メンバーシップエンゲージメント、キャリア開発に関するベストプラクティスを共有しました。2021 年のサミットでは、全 ERG の ERG サインアップの一元化、ネットワークパートナーシップの拡大、専用のコミュニケーションキャンペーン、タレントプロフィールにおける ERG リーダーの関与の認識などが成功しました。当社の従業員リソースグループは、以下のように構成されています。

Asian & Pacific Islander Alliance

Asian & Pacific Islander Alliance は、現在、7 つの支部で 900 人以上のメンバーを擁しています。この組織は 2021 年 5 月に発足し、アジア系および太平洋諸島系従業員の発言力を高め、貢献にスポットライトを当て、関係を促進するプラットフォームを提供するとともに、すべての従業員がアジア系および太平洋諸島系兄弟・姉妹の文化、歴史、経験について学ぶチャネルとして機能しています。

Asian & Pacific Islander Alliance は、現在、7 つの支部で 900 人以上のメンバーを擁しています。この組織は 2021 年 5 月に発足し、アジア系および太平洋諸島系従業員の発言力を高め、貢献にスポットライトを当て、関係を促進するプラットフォームを提供するとともに、すべての従業員がアジア系および太平洋諸島系兄弟・姉妹の文化、歴史、経験について学ぶチャネルとして機能しています。

Black Employee Alliance

Black Employee Alliance は、黒人の同僚をサポートするネットワークを提供し、戦略的な採用、定着、昇進のイニシアチブを推進する機会を提供します。昨年は、HBCU Career Development Marketplace との採用パートナーシップや、初回の従業員メンターシッププログラムなど、いくつかの新しい取り組みを開始しました。こうした取り組みにより、Black Employee Alliance は、8 支部全体で 880 名以上のメンバーを抱えるまでに成長しました。

Diverse Abilities

Diverse Abilities は 2021 年 12 月に発足し、メンバー数は 390 名以上に上ります。グループでは、見てわかる機能障害や身体障害についての認識を促し、差別や社会的排除による個人への影響を明らかにしています。さらに、グループが成長していくにあたり、多様な能力について同僚を教育すること、サポートのネットワークを構築すること、グループ間のネットワーク化やコラボレーションの機会を増やすことを目標に掲げています。

LGBTQ+ Allies

LGBTQ+ Allies は、LGBTQ+ コミュニティに属する当社の従業員とその職場の同僚が、ダイバーシティを重んじる企業文化を促進できるように支援しています。今年、グループは Out & Equal により「New Employee Resource Group of Year Outie Award」のファイナリストとして評価されました。2 年足らずで LGBTQ+ Allies Employee Resource Group は 12 支部を抱えるほどの成長を遂げ、メンバー数は 35 カ国で 1,000 名以上に上ります。



Mosaic

2021 年 7 月に発足した Mosaic は、すでに 950 名以上のメンバーシップ数を獲得しています。Mosaic は、母国を離れて働く人々のためのコミュニティを育む多文化共生組織です。この組織の使命は、多様な文化や民族的背景を持つ優秀な人材の戦略的な確保を促進し、彼らのキャリアアップをサポートすることです。

Somos

Somos は、ヒスパニック系およびラテンアメリカ系従業員のためのサポートとエンゲージメントの取り組みに重点を置いています。2021年、Somos は組織として1周年を迎え、1,350 人を超えるメンバーが参加し、新しいメンターシッププログラム、ヒスパニック ERG の社会的影響に関する座談会、新しい ERG ビデオなど、いくつかの新しいプロジェクトが始まりました。

Veterans Resource Group

当社の退役軍人グループは、米軍退役軍人が組織にもたらす価値について意識を高める活動をしています。10 の公式支部と 500 名以上のメンバーを擁しています。2021 年には、ERG 全体のニュースレターの発行や、Emerson ウェブサイトの [Veterans Career Page](#) が加わりました。Veterans Career Page は、退役軍人の従業員向けのチャネルとして提供されるもので、民間キャリアへの転換や退役軍人の専門性を Emerson で活かす機会について相談できるようになります。

Women's Impact Network

Women's Impact Network は、全世界の女性従業員のためにサポートや人脈作りの機会を提供しています。2021年、6,000 名のメンバーからなるこのグループは、組織全体で 100 支部目というマイルストーンを達成しました。ERG の成長に加え、Women's Impact Network は、指導的立場にある女性の数の増加、定期的なウェビナーの開催、Society of Women Engineers やいくつかの大学との提携による STEM 分野の新世代の女性の会社への誘致を支援し、Emerson を組織として前進させることに役立っています。

Women's Impact Network は記念すべく 100 支部目に達しました。





100%

Emerson は、2022 年に、
人権キャンペーンの LGBTQ
職場の平等に関する企業
平等インデックスで 100%
を獲得しました。

DE&I への取り組みと業務効果の実証

2017 年から、25,000 名以上の従業員がダイバーシティの意識向上 / 無意識の偏見に関する研修に参加しています。参加者には上級管理職もすべて含まれます。研修の Emerson Values Framework に従って、私たちは、今までにない新たな DE&I の傾向に重きを置いて、グローバルな研修カリキュラムを積極的に開発し、更新しています。

上級リーダーは、文化的理解を深め、多様性の問題に対する視点を変え、文化の違いを管理するスキルを高めるのに役立つオンライン評価ツール、Intercultural Development Inventory® (異文化感受性発達調査) (IDI) を活用しています。IDI を完了したリーダーには、文化的な自己理解を深め、異文化交流の戦略を取り入れるためのガイダンスが提供されます。現在までに 500 名以上のリーダーが IDI を修了しています。



STEM への熱意を地域の児童に伝える Lieny Jang 氏。

EMERSON の従業員ができること： 包括的な文化をサポート

Lieny Jang 氏。 香港を拠点にマーケティング部長を務める彼女は、ERGがアジアの新しい国々に進出し始めた2013年からWomen's Impact Networkのメンバーとして活動しています。Lieny氏は、中国のWeChatサポートグループやインドのNational Association for Women Engineersとのコラボレーションなど、組織全体で女性の地位を向上させ支援する方法を企業文化として開発するグループを誇りに思っています。

Women's Impact Networkの実行委員会メンバーとして、Lieny氏は社内の同僚と協力して、マネージャー向けの包括的な研修動画、Women's Impact Networkの年次レポート、小学生以下の子供向けのSTEM Career発表などなどの教育イニシアティブを作成しました。Lieny氏のWomen's Impact Networkでの活動から、特にEmersonが世界中で包括的で魅力的な職場文化を創造するために努力している中で、彼女のEmersonに対する誇りが伺えます。

従業員エンゲージメント

従業員は当社の最大の強みであり、従業員が貴重な意見を述べる場を継続的に提供しています。



従業員の意見と 企業文化に関する調査

同僚からのインサイトにより、ビジネスや従業員との良好な関係が生まれたり促進されたりします。Emerson は、60 年以上にわたって従業員意識調査を実施し、従業員の強いエンゲージメントを継続的に育んできました。毎年行われるこの調査では、エンゲージメント、満足度、ワークライフバランスなど、さまざまなトピックにおける従業員の重要な視点が浮き彫りにされます。

グローバルに展開する Emerson の従業員は、正社員、時間給従業員ともに、年次調査のスコアで常に「とても良い」と評価しています。このプロセスを定期的に繰り返し、結果やコメント、今後の取り組みについて現地で従業員のフォローアップを行うことで真価が発揮されます。2021 年、当社は月次従業員調査で3つのフォーカスエリア（エンゲージメント、新型コロナウイルス感染症、ダイバーシティ）を重視しました。世界的に不安定な年ではありましたが、従業員がつながりを感じ、情報を得ることができるようにと考えました。毎年、従業員は年間を通じて「とても良い」のしきい値を超えるスコアを付けてくれました。

従業員意見調査の概要

26,322+

の従業員がアンケートに参加

90%

のアンケート回答率

「とても良い」

最高評価のカテゴリ: COVID-19

「とても良い」、安全性

「とても良い」



労使関係

当社は、従業員を代表する労働団体を選択する際の団体の自由に対する従業員の権利を尊重します。当社は協力して、組合、労使協議会、従業員協会（当社従業員の多くを代表する団体）と前向きな関係を維持しています。米国では、2021年の時点で従業員の約6%が組合に加入しています。世界規模では、従業員の約30%が、組合、労使協議会、従業員協会などの従業員代表組織に属しています。

賃金と福利厚生

Emersonでは、優れた能力を持つグローバル労働力を保持・育成することに取り組んでいます。当社は、事業展開する世界中の市場において、競争力のある賃金と福利厚生を提供することで、「当社の人材を支援する」という価値感を守っています。当社の報酬慣行は、適用される賃金法と、最低賃金、残業補償および法的に義務付けられた福利厚生に関連する報酬を含む国際基準に準拠しています。労働者への支払いの根拠は、給与明細書または同様の書面による連絡を通じて適時に文書化されます。

米国では、ヘルスケア、生命保険、障害補償、有給の育児休暇、退職貯蓄プログラムの利用など、の標準福利厚生パッケージを正社員に提供しています。他の国では、正社員向けの福利厚生パッケージは法的義務によって異なりますが、すべてに有給の育児休暇が含まれています。また、最近、従業員が医療関連リソースにアクセスしやすくするために、テレヘルス（遠隔医療）保険を追加しました。

有給育児休暇

ワークライフバランスと充実した家族時間を持つことは、健全な暮らしにおいて非常に重要です。初めて親になった従業員に対する有給休暇制度では、主保護者を決めて休暇を取得することを定めています。出産や養子縁組により新たに子供を家族に迎える場合、主保護者とされるEmersonの従業員は、出産または養子縁組時から100%の賃金で連続12週間の有給育児休暇を取得できます。一方、この期間中に副保護者として配偶者やパートナーをサポートする従業員は、2週間の有給育児休暇を取得することができます。なお、出産または養子縁組時から6カ月以内に取得する必要があります。適用法の最低基準が当社の新方針を上回る国の場合、Emersonでは適用法を遵守します。

従業員サポートプログラム

従業員サポートプログラムでは、従業員が困窮しているときにサポートを受けられるように、さまざまなリソースを提供しています。今年、Emerson Caresイニシアチブを導入しました。このイニシアチブは、自然災害、主たる住居の損傷、従業員や家族の死亡などの理由で支援を必要としているEmersonの社員に対して経済的支援を提供するSupport Our People Fund（社員支援基金）を併設しています。Emerson Caresの傘下にあるこの新しい基金が、既存の従業員支援プログラム（Employee Assistance Program）に加わり、プログラムがグローバルに拡大したことで、Emersonの全従業員に精神衛生リソースを提供できるようになりました。

差別とハラスメント

当社は全従業員の貢献を高く評価し、差別やハラスメントを容認しません。これについては、全従業員に義務付けられている当社の年次倫理研修で補強されます。Emersonは、均等な機会を与える企業として、性別、人種、肌の色、信教、出身国、年齢、婚姻状況、所属政党、性的指向、性同一性、遺

伝情報、障害者または保護を受ける退役軍人のステータスに関係なく、すべての職種において人材を募集、採用、訓練、昇進させることを約束します。当社は、これらのステータスおよび保護を受ける階級に基づく、いかなる形態の差別もハラスメントも許容しません。

人権

Emersonは、世界中の事業活動において、商業環境の健全化や活性化、あるいは社会の多様化にとって不可欠な人権の尊重と促進に深く関与しています。これに伴い、特に次のような難しい問題や活動に対しては、特有の配慮が必要です。

人の扱いへの取り組み

当社では、セクシャルハラスメント、性的虐待、体罰、精神的または身体的強制、暴言など、いかなる形態の過酷または非人道的な扱いを認めません。また、マネージャーがこのような扱いを脅かすことも認めません。

強制労働の禁止

当社の方針では、強制労働、拘束労働、年季契約労働、非自主的な囚人労働などの強制的労働を禁じています。また、サプライヤが強制労働、拘束労働、年季契約労働などの強制的労働を行うことも禁止しています。当社のポリシーは、2015年の英国現代奴隷法などの重要な規制に準拠します。Emersonは、これらをはじめとする取り組みを全面的にサポートし、世界中の人身売買を撲滅します。

児童労働の禁止

当社の方針では、児童労働を認めず、いかなる施設や事業でも児童労働は行いません。Emersonは、すべての従業員が、適用される地域および国の法律で定義された適切な年齢に達していることを要求します。特定の状況下では、法律や規制に準拠した合法的な職場実習プログラムの利用を支援します。また、サプライヤが現地の法定労働年齢に満たない者を雇用することを禁止しています。

研修と能力開発

当社のプログラムは、従業員が最大の潜在能力を発揮するために必要な知識、スキル、研修を提供します。



Emerson は、従業員の研修と能力開発に、全体的で統合的なアプローチを採用しています。当社の 70/20/10 能力開発フレームワークは、従業員がキャリアアップするためのコンピテンシーとスキルを提供するものです。このフレームワークでは、実務経験が従業員の能力開発の 70% を占め、人間関係とフィードバックが能力開発の 20% を占め、社内ネットワークの構築を支援し、集中トレーニングが能力開発の 10% を占め、従業員に関連知識とスキルを身に付けさせます。

EMERSON のリーダーシップ育成

人材はビジネスにおいてきわめて重要です。専門的な目標を達成するために、それぞれに個別の開発目標があることを認識しています。学習や能力開発のニーズがあるグローバルな人材をサポートするために、当社では、e-ラーニング、バーチャル講師または対面による研修など、さまざまな方法でワークショップを提供しています。特に 2021 年においては、従業員がソーシャルディスタンスを維持していたため、バーチャル系の選択肢は不可欠でした。

リーダーシップ育成の科目では、キャリア形成のさまざまな転換点に重きを置いて、自己育成から企業の先導までのスキルセットを構築します。各ワークショップでは、個別のコンピテンシー開発に重きを置き、Emerson が有するセブン・コア・バリュー（7つの基本的価値観）の1つを各々マッピングします。これらのプログラムで培った知識とスキルを応用することで、従業員は Emerson の価値観と理念をより高めることができるようになります。2021年、当社は 300 以上のワークショップを開催し、世界中で 5,000 名以上のリーダーを育成しました。

2018年、有望な従業員向けにハイペースの学習エクスペリエンスとなる Rising Leaders Program を開始しました。12 カ月

間にわたるプログラムにより、参加者たちは、協力しながら包括的な環境を構築するなど、トピックに対して全体像を把握できるようになり、リーダーシップのマインドセットを持って、真の自己になることができるようになります。このプログラムは、世界各地のリーダーが担当し、参加者に一貫した学習体験を提供する一方、現地のニーズに応じた柔軟な対応を可能にしています

人事考課

当社のすべての正社員とその上司は、パフォーマンス、能力開発、コンピテンシーベースの目標に焦点を当てて、毎年人事考課を行います。また、時間給労働者も同様の話し合いを行い、各自の職種に関連するパフォーマンスを見直すことが期待されています。当社のプロセスでは、従業員のパフォーマンスと能力開発の計画にグローバルなコンピテンシーフレームワークを使用しています。また、グローバル研修やツールキットのリソースガイドを活用し、マネージャーと従業員が効果的なパフォーマンスディスカッションを行うために必要なサポートを提供しています。

従業員の能力開発

Emerson は、次世代のイノベーターを育成し、熟練工の労働力を強化するための取り組みを長年にわたって支援しています。



従業員の能力開発をサポートする取り組みには、Emerson のテクノロジーを利用するお客様に提供する研修や教育プログラム、そして学術的な研修を提供する世界中の何百もの大学や専門学校へのサポートがあります。

EMERSON 教育サービス

Emerson は、企業や顧客がスキルを向上させ、新しい技術に適應するためのさまざまな研修ソリューションを提供しています。

HVACR 業界のお客様をサポートするため、Commercial & Residential Solutions の教育サービスプログラムでは、インストラクター主導の仮想セッション、オンラインコース、適切なプロトコルを用いた対面での講義など、さまざまな参加方法を提供しています。HVACR 業界の請負業者、エンドユーザー、相手先ブランド製造業者は、冷凍・空調用の Copeland™ コンプレッサをはじめ、Lumity™ 冷凍・設備制御装置などの Emerson の製品に関する研修（ライブまたは録画）に無料で参加する機会があります。また、お客様は引き続きオンライントレーニングコースを無料で利用することができ、その

多くは North American Technical Excellence (NATE) 認定を受けています。

オートメーションソリューションの教育サービスプログラムは、バーチャル講師主導型学習への移行を加速させました。当社では、バーチャル、半バーチャル、対面コースとさまざまなタイプの講義を用意しています。提供方法に柔軟性を持たせることで、お客様のさまざまな要望に応えられるようになりました。MyTrainingの開始により、オートメーションソリューションのお客様は、Emerson のテクノロジーを最適化するための統合教育ソリューションにアクセスできるようになりました。Emerson は International Association for Continuing Education and Training (IACET) の公認プロバイダーです。

2021 年中に 9,616 名のお客様がオートメーションソリューションの研修プログラムに参加し、合計 239,779 時間の研修が行われました。

大学および専門学校プログラム

Emerson は、世界中にある数多くの大学や専門学校と提携し、学生が未来の産業で成功するために必要なカリキュラム、製品、研修を提供しています。以下に、いくつかの例をご紹介します。

COCKRELL SCHOOL OF ENGINEERING -

テキサス大学オースティン校

Emerson は、テキサス大学オースティン校の Cockrell School of Engineering で Texas Rocket Engineering Laboratory (TREL) のスポンサーを務めています。このスポンサーの一環として、学生たちが Halcyon ロケットの製作で使用する当社の TESCOM レギュレータを寄贈しています。過去2年間で、300名以上の TREL エンジニアと学生がこのプロジェクトの恩恵を受けています。

OZARKS TECHNICAL COMMUNITY COLLEGE (ミズーリ州 SPRINGFIELD)

Emerson では、Ozarks Technical Community College (OTC) に計画されている Center for Advanced Manufacturing の設立に50万ドルの寄付を約束しています。センターでは、ロボット工学、メカトロニクス、オートメーションなどの最新製造法の研修や教育が行われる予定です。Lebanon や Ava の近隣地域にある Emerson の製造施設では、ここ数年で30名以上の OTC 卒業生を雇用しています。



セントクラウド州立大学 (ミネソタ州 ST. CLOUD)

Emerson はツインシティーズエリアの計測機器チームを通じて、15年以上にわたってセントクラウド州立大学と緊密に連携してきました。セントクラウド州立大学の工学カリキュラムへの助言に加え、現在、プロセス産業で使用される高度な有線および無線測定装置のソフトウェア設計に関連する学部研究および研修プロジェクトに資金援助を行っています。

CLUJ-NAPOCA (ルーマニア) の大学パートナーシップ

Cluj-Napoca (ルーマニア) にある主要な製造および共有サービス施設では、市内の主要大学2校 (Technical University of Cluj-Napoca、Babes-Bolyai University) と長期的なパートナーシップを結んでいます。今年は、エンジニアリング研修で使用できるように、Emerson のさまざまなテクノロジーが大学に提供されました。

業界の管理

Emerson は、世界で最も重要な産業にソリューションを提供し、すべての人々の安全、快適、健康、生活の質を向上させています。



当社のテクノロジーは、より生産的で効率的、そして安全な環境づくりに貢献しています。

より健康的な生活をサポート

Lumity™ ブランドが温度に敏感な重要な製品の安全性を維持

分析用ソフトウェアやデジタルソリューションの Lumity™ ブランドにより、輸送中や保管中の間も一定の温度を維持することで、食品や医療などの重要な消費者向け製品の安全性が徹底して保たれています。Lumity の監視機能で温度や湿度などの状態をリアルタイムで追跡できるので、企業は必要な調整を行うことで、デリケートな製品の品質や安全性を守ることができるようになります。

Fluxa への株式投資により新薬の市場投入までの時間短縮に貢献

Emerson の最先端のライフサイエンス機能と Fluxa の Process and Knowledge Management ソフトウェアを組み合わせるこ

とで、新薬の R&D 製造のタイムラインを加速することを目指します。このテクノロジーにより、製造時における調剤方法のスケールアップ、テクノロジー移転、システムにおける企業レベルのセキュリティなど、時間とリソースの節約を可能にします。

ライフサイエンスの開発・製造プロセスにおける急速なイノベーションは、研究開発の迅速化と自動化テクノロジーによって、これまで平均 8 年かかっていたサイクルを 2 年未満に圧縮しています。

Gem City Market との提携により、恵まれない地域に新鮮な食品を提供

Dayton (オハイオ州) にある Helix Innovation Center の新たなソリューションが地域コミュニティに導入されたので、栄養不良の問題に対処できるようになりました。Emerson は Chemours および Hussmann と共同で、Dayton の「フードデザート」内にある共同食料品店、Gem City Market に革新的なコーブランドスクロール冷凍機アーキテクチャを寄贈しました。USDA は「フードデザート」を、貧困率が 20% 以上で、住民の 3 分の 1 が食料品店から 1 マイル (約 1.6 km) 以上離れた場所に住んでいる地域と分類しています。



イノベーションで未来を切り開く

Emerson ブランドの製品やテクノロジーにより、オペレーションに対するお客様のアプローチ方法が見直されます。当社では、廃棄物、HVACR、冷凍などの分野で、安全性と快適性のニーズをより持続可能な形で満たせる可能性を追求します。

PureCycle との契約により、リサイクル能力を拡大

Emerson では、PureCycle Technologies とパートナー提携して、プラスチックのリサイクル向上をサポートしています。Emerson が、グローバル施設向けの高度なデジタルテクノロジーやオートメーションを提供することで大規模なリサイクルが実現し、ポリプロピレンプラスチックがプラスチック包装用に再使用できるようになります。年間 1,700 億トン以上のポリプロピレンが生産されていますが、リサイクルや再使用ができるのは通常 1% 未満です。

Copeland ブランド製品にの大きなマイルストーン

空調および冷凍向けのコンプレッサテクノロジーを備えた Emerson の Copeland ブランド製品は 100 周年を迎えました。このマイルストーンは、Sidney (オハイオ州) の工学施設に数百万ドルを投じ、11 万平方フィート (約 10,220 m²) の拡張工事を完了したときに迎えることになりました。

この拡張は、地球温暖化係数 (GWP) の低い冷媒を使用して持続可能な HVACR ソリューションを見つけるという Copeland の取り組みを強化し、お客様の安全性と快適性を維持するものです。

企業の慈善活動

Emerson による企業の社会的貢献活動では、当社のコミットメントの強化や、皆にとって公平性のある未来の構築を追求しています。



この活動は、当社が事業展開するコミュニティを中心に行われています。当社の慈善的な貢献や従業員のボランティア活動を通じて、すべての住民にとって住みやすく働きやすい、より魅力的な場所となるコミュニティ作りを目指しています。

2021 年、Emerson と Emerson Charitable Trust は、1,100 以上の慈善団体、NPO、教育機関をはじめ、企業奨学金や教師認証プログラムに対して計 2,400 万ドルに上る寄付をしました。

米国における慈善活動の焦点を教育の公平性のニーズにシフト

過去 10 年間、Emerson は米国内の地域コミュニティにおけるさまざまな活動に対して総額 3 億ドル以上の慈善寄付を行ってきました。そして当社は、地域の向上をサポートしてきた実績をもとに、私たちは地域コミュニティにさらに深く、長期的な影響を与えるための次の段階の寄付を開始する準備が整いました。

Emerson は、すべての人にとってより公平な未来を構築するという Emerson のビジョンの一環として、今後 10 年間で 2 億ドルの寄付を行い、事業を展開する地域コミュニティにおける教育の不公平に対処することは、Emerson と Emerson Charitable Trust で行われる慈善寄付は、主に幼児期から高校

までの子供と青少年の発達と教育エクスペリエンスに関連するイニシアチブに慈善寄付をシフトしていく予定です。当社は、リソースが不足しているコミュニティを対象としたイニシすべての人にとってより良い、より公平な結果を生み出すために、恵まれないコミュニティを対象とした取り組みに優先的に資金を提供します。このコミットメントに関する最新情報は、今後の ESG レポートで追ってお伝えしますので、ご期待ください。

EMERSON が世界各地で展開する 慈善活動

Emerson には、事業展開をしている世界中の国やコミュニティの改善を図るコミットメントがあります。当社の慈善活動例として、インドや中国での慈善活動の概要を以下にて紹介します。世界中で展開している当社の慈善活動に関する詳細は、当社のウェブサイトをご覧ください。

インド CSR プログラム

この4年間、Emerson のインド企業における社会的責任戦略では、教育関連のイニシアティブに重きを置いて、Emerson が事業展開するコミュニティの向上を図ることに移行しています。たとえば、当社は、Learning Links Foundation とパートナー提携を結び、インド国内の各地に Tinkering STEAM (科学、技術、工学、芸術、数学) の研究室を作っています。さらに、第二の人生における能力開発、雇用適性、職業訓練向けに Magic Bus Foundation、Massoom、Lend-A-Hand India (LAHI) が提供しているプログラムもサポートしています。

中国 CSR プログラム

Emerson では、中国南西部と中国北西部の未開発地域に住む先天性心疾患の小児を支援する赤十字プログラムを長年にわたりサポートしています。また、中国中西部にある地方の学校10校で構内病院を設立したり研修をしたりするための資金調達をして、中国赤十字基金をサポートしています。この2年間のイニシアティブにより、2万人以上の学生に対して基本的な医療サービスや健康診断を提供することができました。

SUPPORT OUR PEOPLE FUND (従業員サポート基金)

2021年、当社では、従業員主体の Support Our People Fund が始まりました。Emerson の基本理念である Support Our People (従業員のサポート) にちなんだもので、経済的に窮乏している世界中の従業員をサポートするものです。Support Our People Fund (以下 Fund) は、Emerson Charitable Trust からの年間支援と従業員からの個人寄付によって賄われています。従業員の意識を高めるため、Emerson はこの基金を立ち上げ、Fund への10万ドル以上の従業員の寄付と同額を寄付するチャレンジマッチを実施しました。また、従業員の給与天引を導入し、従業員が Fund に自動的に寄付できるようにしました。



STEM 教育

Emerson は、STEM 関連教育を受けた将来のリーダーの育成をサポートし、STEM 分野でキャリア機会の意識を高めるために、地域社会および全世界で指導的役割を果たしています。



260万ドル

米国の STEM 教育プログラムを支援するために拠出された資金額（2021 年度）。過去 10 年間にわたり、Emerson は STEM イニシアチブに 1,900 万ドル以上を寄付してきました。

WE LOVE STEM（大好き STEM）

STEM（科学、技術、工学、数学）教育へのサポートやキャリア機会への意識を高めるために長期にわたり取り組まれている「We Love STEM」活動は、12 か国で数多くの子供たちに展開されています。2021 年は世界的なパンデミックとなりましたが、この従業員ボランティアによる活動は、バーチャル形式で継続することができました。以下にて実例をご覧ください：

バーチャル WE LOVE STEM デー（米国）

We Love STEM デーは毎年開催されるイベントですが、世界的なパンデミックの間は、米国の従業員のあらゆる年齢層の子供たちが安全に楽しめるようにするために、従業員ボランティアが3つの全国ライブバーチャルイベントを同時開催しました。子供たちは年齢に応じた STEM アクティビティキットを受け取るので、ライブ実演のときに一緒に参加することができました。Emerson の国内 37 拠点で勤務する従業員の子供ら約 600 名が参加しました。Emerson の従業員ボランティアは 60 名以上に上り、活動の計画、取りまとめ、主催に従事しました。



Emerson は、2021 年の We Love STEM イニシアチブの一環として、非営利組織の Boys and Girls Clubs Greater of St. Louis と Girls Inc. of St. Louis に STEM アクティビティキットを 1,200 セット寄付しました。

バーチャル STEM コンペティション

カナダでは、Emersonは科学、技術、工学、数学の分野における子供たちの創造性と独創性を育むことを目的とした第2回バーチャルSTEMコンテストのスポンサーを務めました。今年の応募者には、クリーンエネルギーの発展、食糧供給の改善、社会の強化を目標に、パンデミック後の世界をイメージしたり創造したりしてもらいました。6～16歳までの約50名の応募者は、国内5カ所の大学やカレッジから招いた20名以上のメンターの指導の下で、自分たちのアイデアやプレゼンテーションを考えたり改善したりすることができました。最終選考に残った上位10名は、著名な審査員団を前に自分のプロジェクトをバーチャル形式で発表しました。

子供の日 + WE LOVE STEM

今年、Chengdu（中国）にあるEmersonの工場で勤務する従業員たちは、子供の日を祝して、地域のクラシックカー博物館で自分たちの子供と一緒にSTEMイベントを開催しました。子供たちは、展示室のツアーで自動車の開発プロセスについて学んだ後、おもちゃの自動車の組み立てを手伝いました。





ガバナンスと 説明責任

コーポレートガバナンス

Emerson は高水準のコーポレートガバナンスに
力を入れています。



2021年5月、Emerson は James Turley 氏を社外取締役に
任命しました。

当社は、必要な手順を踏んで、会社として責任のある行動をとり、Emerson の目的に従っています。ESG の問題に対処するコミットメントは、従業員、お客様、サプライヤ、コミュニティとの信頼関係を維持したり発展させたりする上できわめて重要になります。

取締役会、経営陣から従業員、サプライヤーに至るまで、Emerson を代表する人々は、揺るぎないレベルの誠実さを維持することを期待されています。

取締役会

Emerson の取締役会のメンバーは株主によって選出され、上級管理職を監督し、戦略的ガイダンスを示します。取締役会の中心的な責任は、信認義務を果たして勤勉に行動し、Emerson のすべての株主に最善の利益をもたらすことです。取締役会は、上級管理職のメンバーを選出および監督し、会社の日常業務における権限と責任を委譲します。また、取締役会は、会社の経営に関する指導と監督も行い、企業ポリシーの確立、ポリシー順守の監督、会社取引の承認を行う責任を負います。

取締役会のポリシー

Emerson の原則と慣行は取締役会によって推進され、これらの基礎要素は、独立性の高い多様な視点と深い管理専門知識によって形成されます。取締役会の業務は、次の条件に従って行われます。

独立

取締役会メンバーの過半数は独立性を維持する必要があります。また、少なくとも毎年、この独立性の確認が行われます。

年次株主総会招集通知の中で、Emerson は、株主が取締役（社外取締役を含む）と意見を交換する方法を発表します。当社の取締役独立性標準は、コーポレートガバナンス原則および慣行に関する附属書 II に記載されています。

組成

取締役会のメンバーは、企業、政府機関、その他の関連団体において上級管理職の経験者を投入する必要があります。当社は、取締役会において視点やバックグラウンドの多様性を求めます。これにより、ビジネス環境の変化を把握して、予測を立てることができるようになります。

委員会

Emersonの取締役会には、多くの分野で専門的な管理を行えるようにするために、監査、報酬、コーポレートガバナンス/指名、執行、財務の5つの委員会があります。これらの委員会は、独立体としてNYSEやEmersonのガバナンス文書の要件に準拠します。取締役会の委員会に関する詳細については、Emerson.comの[コーポレートガバナンス](#)セクションをご覧ください。

最近のコーポレートガバナンス活動

コーポレートガバナンス/指名委員会は、株主からのフィードバック、業界動向、リスク、機会に基づいて、Emersonのガバナンスの原則や慣行を定期的に見直します。委員会にて変更が必要と判断された場合、委員会は全取締役会に変更の旨を提言して、ポリシー変更に必要な承認を得るものとします。

先日、Emersonでは次のコーポレートガバナンス活動を行いました。

社外取締役

2021年5月、EmersonはJames Turley氏を社外取締役に任命しました。Emersonの取締役会には、10名の独立メンバーおよび1名の社内取締役、Emersonの会長兼最高経営責任者Lal Karsanbhai氏が含まれます。

取締役会の刷新

Emersonは、この5年間で6名の新役員を取締役に迎え入れましたが、そのうち4名は多様性を有した役員です。現在、取締役会の45%が女性または有色人種で、平均在任期間は7年です。

従業員の経験

2021年、Emersonは、今初の最高人材責任者を任命し、今日の人材ニーズの変化に合わせて会社を発展させ、将来的に成功するための体制を整えています。

ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン

Emersonでは、誰もが価値を認められ、信頼され、力を与えられたと感じられる企業文化を実現するために努力しています。現在、3つある取締役会の委員会のうち2つの委員会で女性が委員長を務め、最高経営責任者の60%は多様性を有しています。また、2021年には、リーダーシップレベルでダイバーシティ目標が導入され、2つの新たな従業員リソースグループも設立されました。

パフォーマンスベースのESG目標

Emersonでは、報酬に関する包括的な議論やプログラムの一環としてESGの優先事項の統合を継続的に行っています。先日、当社では、公開されているリーダーシップの多様性、代表制、GHG排出量削減目標の裏付けとなるESGの優先事項に関する概要が示されました。この内容は、2022年度の上層リーダーの年次ボーナスを決定する際に報酬委員会の考慮事項のために提示される予定です。

2021年の主なイベントと企業文化の開発

- 社外取締役の任命
- 初の最高サステナビリティ責任者
- 新たなCEOへの移行が成功
- 初の最高人事責任者

一目でわかる2022年度取締役会

独立



多様性



在任期間



従業員とコミュニティ

2021年、Emersonは従業員向けにSupport Our People Fundを設立し、慈善寄付の対象をコミュニティにおける教育の公平性への取り組みにシフトしていきました。

ESG 監督の強化

先日、Emersonでは、コーポレートガバナンスおよび指名委員会の綱領を改正し、健康、安全、環境サステナビリティに関するポリシーや報告作成、ESGレポートの監督など、重要な公共政策や企業の社会的責任に関する問題を監督する役割を強調しました。

監査委員会の財務専門家

2021年、取締役会は、SEC規則に基づき、監査委員会の3名を監査委員会の財務専門家にすることを決定しました。

GHG 削減目標

2021年初頭、Emersonでは、会社と環境サステナビリティ運営委員会を率いる初の最高サステナビリティ責任者が任命され、2018年を基準値として、2028年までに売上高換算のGHG排出量を20%削減する活動など、サステナビリティへの取り組みがさらに推進されました。

BYLAWS の更新

2021年、Emersonでは、CEOと取締役会長の役割を分割するため、ByLawsが修正されました。また、当社のプロキシアクセス附属定款も改善され、分類分けされた役員会構成に基づいていたプロキシアクセス指名候補者数に関する制限も撤廃されました。



リスク管理と監督

取締役会はEmersonのリスク管理プロセスを監督します。このプロセスにより、取締役会では、重要なリスクの特定、報告、評価、管理をタイムリーに可視化することができるようになります。監査委員会は、リスク管理において取締役会をサポートする一定の責任があります。これには、主な財務リスクの公開をはじめ、こうした公開を監視、軽減、管理するための手順が含まれます。Emersonの環境活動、監査、支出は、監査委員会と全取締役会で毎年見直されます。

コーポレートガバナンス / 指名委員会は、Emersonの利益相反ポリシー、倫理規定、ESG、政治活動、法規制の遵守を監督する上で取締役会をサポートする責任があります。

正式な年次リスクアセスメントプロセスには、すべてのビジネスリーダー、企業リーダー、最高経営責任者のメンバーの調査や面談が含まれます。重大なリスクが確認された場合、計画の実施責任者と完了までのスケジュールを明示した軽減計画が策定されます。監査委員会および全取締役会は、毎年リスクアセスメントの結果を受け取り、Emersonのリスク管理プロセスを十分に把握して監視します。

また、Emersonの管理プロセスの一環として、さまざまな分野で継続的なリスクアセスメントが実施され、アセスメント結果は、必要に応じて取締役会や関連委員会にも報告されることとなります。これには、倫理違反や人権、環境リスクなどの潜在的な問題が含まれる可能性があります。

政治参加

Emersonの株主、従業員、顧客は、政府のあらゆるレベルの公共政策の影響を受けます。株主の利益を保護するため、Emersonは当局との関わりを持ち、当社の事業、新たなテクノロジー、市場に関する教育を実施しています。政治参加に対するEmersonのポリシーや対応について、詳しくはEmersonウェブサイトの[業界団体とロビー活動](#)をご覧ください。

誠実さと倫理

Emerson では、すべての従業員やリーダーが、社内をはじめ、お客様、サプライヤ、コミュニティに働きかける際に、ハイレベルな誠実さや倫理的な行動を保つことが求められています。



倫理および法令遵守プロセスをサポートするために、当社で確立されたポリシーや慣行は、倫理およびコンプライアンスプログラムにて従業員向けに明確に定義されるようになりました。

取締役会のコーポレートガバナンスおよび指名委員会がプログラムを監督して、会社が監視、調査、評価を通じて包括的な

アプローチを実行できるようにし、人事、監査とコンプライアンス、法務の3つの中核的な機能分野が融合されました。

当社では、従業員への倫理およびコンプライアンスプログラムの伝達が、研修、文書、報告のチャネルで行われ、質問や懸念がある場合は、エスカレーションすることができます。プログラムは、毎年見直しを行い、事業展開している現行のビジネス環境や業界との一貫性を確保しています。新入社員には新人研修が行われます。また、プログラム上の従業員やリーダーは、毎年の研修を通じて更新されます。

従業員行動規範

従業員行動規範ハンドブック「The Right Way」は、Emerson の従業員が世界でビジネスを行う際の基盤として役立ちます。最新版は、[Emerson.com/ethics](https://www.emerson.com/ethics) からすべての従業員と一般の人々が利用でき、20か国語以上に翻訳されています。また、執行役員および取締役会メンバーには、これらのリーダーの特別な責任に対処するための補足的な倫理ガイドラインが提供され、一般に公開されています。

最高経営責任者および上級財務責任者倫理規定

当社の最上級幹部は、最高経営責任者および上級財務責任者倫理規定を順守しています。この倫理規定には、誠実さの発揮と促進、正確でタイムリーな財務報告の提供などの期待事項が規定されています。

Emerson では、誠実さは企業の基本的な価値であるだけでなく、常に不可欠な日々のマインドセットとして、効果的に前進させてくれるものでも考えています。

従業員行動規範ハンドブック「The Right Way」は、Emerson の従業員が世界でビジネスを行う際の基盤として役立ちます。

年次倫理研修

従業員行動規範を確実に理解してもらうために、全従業員は、年次で行われる倫理研修を修了することが義務付けられています。研修は対面およびオンラインで行われます。インタラクティブな要素がいくつかあり、最後に評価されます。基本的に対面研修を奨励しますが、リモートワークの従業員はオンライン研修も利用できます。

倫理ホットラインと報告プロセス

倫理報告プロセスでは、非倫理的な行動を報告する際、従業員自身の雇用状態を守りながら報告を行う手順が明確に示されています。当社は、報復や嫌がらせから内部告発者を全力で守ります。

従業員が倫理的な懸念をエスカレーションする場合、倫理報告ウェブサイトや倫理ホットラインなど、いくつか方法があります。いずれのチャンネルも独立したサードパーティが運用しているものなので、従業員は匿名性を維持することができます。

倫理的な懸念の審査と解決

倫理に関する問題の報告は、限られた数のEmersonの経験豊富な専門スタッフによって処理されます。重大な倫理違反の申し立ては、Emersonが独自の基準を設けており、最高倫理責任者および最高コンプライアンス責任者に直接報告する必要があります。Emersonの倫理レビューや解決プログラムでは、社内外の監査人によって毎年レビューされます。

利益相反の評価および報告

Emersonでは、利益相反を深刻に受け止めています。従業員には、毎年アンケートを実施して、Emerson、取締役、役員、従業員のいずれの間にも利益相反の可能性がないか確認します。このアンケートは20か国語以上で実施され、2021年は40,000名以上の取締役、役員、従業員が回答しました。利益相反の事例として新たに報告されると、すべて30日以内に調査や対応が行われます。



Emerson におけるコンプライアンスリスクの監督分野

- 独占禁止法 / 競争法
- 腐敗防止
- 利益相反
- 環境
- 倫理申し立て
- データプライバシー
- ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン
- 安全衛生
- 人に対する処置
- 製品関連の環境法
- 記録管理
- トレードコンプライアンス

コンプライアンスリスクの監督

Emerson のコンプライアンス委員会のメンバーは、四半期ごとに会議を開き、新たな傾向に基づき、新規または既存のコンプライアンスリスクについて話し合います。

Emerson では、サードパーティを関与させた上で、倫理およびコンプライアンスプログラムを定期的にレビューして、米国司法省 (DOJ) のガイドラインや、トレッドウェイ委員会組織委員会 (COSO) のフレームワークなどの主要な慣行との適合程度を確認しています。

直近のレビューでは、プログラムがこれらの慣行に適合していることが確認されました。

腐敗防止の統制

Emerson は、グローバル事業全体で汚職を防ぐために詳細なプロセスを順守しています。すべてのビジネスユニットにおいて、四半期ごとに内部統制アンケート（腐敗防止の統制を含む）を記入して、正当性を証明することが義務付けられています。また、Emerson の内部監査では、リスクアセスメントの一環として特定された場所で、腐敗防止監査も毎年実施しています。この3年間で、約61,000名の従業員が腐敗防止研修を受け、Emerson のサードパーティ腐敗防止デューデリジェンスプログラムにおいては、この1年間で約1,500名の従業員がバーチャル研修を受けました。

また、Emerson では、サードパーティ関連のリスクを積極的に管理するために、これらのグループに対して徹底したスクリーニングや継続的なリスクアセスメントを実施し、活動する場所が危険度の高い国や業界の場合は、特段の注意を払っています。

~61,000

名の従業員が、この3年間に汚職防止研修を受けました。

~1,500

名の従業員が、Emerson のサードパーティ腐敗防止デューデリジェンスプログラムで、この1年間にバーチャル研修を受けました。

職場の安全性

当社の理念の1つである「安全と品質」は、
当社のあらゆる事業活動の基礎を成しています。



当社の企業安全協議会は、最高の人材、オペレーション、安全のリーダーたちで構成されています。協議会では、安全性への取り組みを監督し、四半期ごとに会合を開いて、戦略の連携を確認したり、安全教育、予防、傾向、コンプライアンスなどの優先事項の進捗状況を追跡したりします。各拠点には専属の安全リーダーがいて、それぞれ50名以上の従業員と、現地レベルで運営されている委員会が配置されています。第一線の従業員は、代表に立って安全衛生の問題に積極的に対処します。当社では、あらゆる業務の従業員と経営陣に対して安全研修を実施しています。

各施設での安全パフォーマンスの達成に対しては、Safety Leadership Awardsにて毎年表彰されます。たとえば、際立った安全性や企業文化のプログラムを実施している施設には、Chief Operating Officer Safety Awardが贈られます。

Suzhou（中国）の気候テクノロジー工場は、模範的な安全プログラムとパフォーマンス実績が認められ、2021 Chief Operating Officer Safety Awardを受賞しました。

当社では、あらゆるインシデントは予防できるものと確信しており、焦点を絞った計画的な対応により、重傷のリスクを低減し、さらに排除することを目標にしています。2021 年は、以下のイニシアティブが実施されたり、大幅に強化されたりしました。

I OWN SAFETY (安全教育: 安全を自分の問題として捉える)

このグローバルな 5 モジュールシリーズでは、Emerson の安全状態を調査し、従業員が責任を持って、環境、健康、安全 (EHS) のパフォーマンスに取り組めるようにします。このセッションの目的は、すべての従業員が、EHS に関する Emerson のビジョンや企業文化を理解し、インシデントはすべて予防できるものであることを確信して、EHS のパフォーマンスに責任を持つことができるようになることです。これには、自分たちの環境にある安全要素や危険要素を把握したり、リスクを評価して EHS の改善余地を確認したり、リスク管理の行動を起こしたりすることが含まれます。

2021 年、世界中の Emerson の拠点では、I Own Safety の概念が取り入れられ、仕事のあらゆる面で意思決定や行動が強化されました。

VELOCITYEHS

この EHS データ管理ツールは、Emerson の全拠点に導入され、運用リスクの評価や軽減において関連情報を収集したり、追跡したり、分析したりできるようになります。2020 年度末、VelocityEHS Suite に変更管理 (MOC) モジュールが新たに加わりました。MOC モジュールを使用すると、体系的な変更管理が実現します。これにより、施設、運用、人員に関与するときは、健康、安全、環境のリスクや危険に対して積極的に対応できるようになります。

SEND WORD NOW (今すぐ知らせる)

専用の自然災害アラートシステムには、全世界で 77,000 名以上の従業員が登録されています。

2021 年 6 月、World Safety Day (世界安全の日) が開催されました。従業員は、緑色のもの身に着けて賛同を示し、企業文化、予防、気づきを中心とした活動に参加しました。拠点の主催で、対象のリスク低減プロジェクト、実践的な研修活動、安全関連のゲームやコンテスト、コミュニティ奉仕活動イベントが行われました。

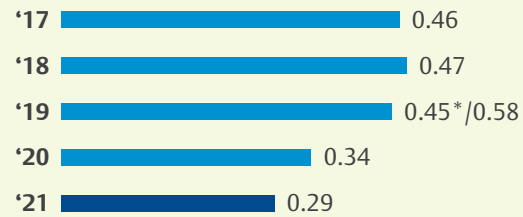


46%

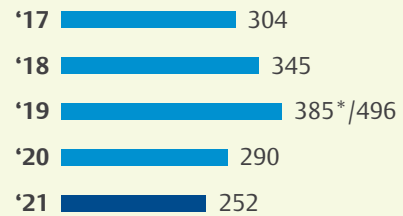
2016 年以降、労働災害発生率が減少

EMERSON の世界的な健康と公平性に関するパフォーマンス

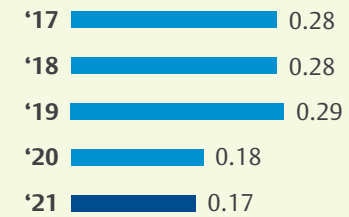
労働災害発生率



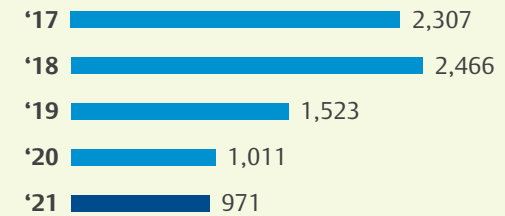
労災件数



労働損失日事例または就労制限日事例発生率



応急処置



*世界の1か所で発生した単独の食中毒症インシデントは除外されます。

サプライチェーン

Emerson の事業において、
サプライチェーンは不可欠です。



当社では、世界中のサプライチェーンパートナーと緊密に連携して、高品質かつ費用対効果の高いコンポーネントを調達し、サプライチェーンの柔軟性を提供し、仕事への誠実さの重要性を強化していきます。

Guadalajara White Rogers plant 工場にて、サプライチェーンパートナーである Benchmark を招き、Energy Treasure Hunt に参加してもらいました。この組織チームは、二酸化炭素排出量を 15% 削減できるエネルギー効率の高いアイデアを幅広くリストアップしました。

当社は、最高水準の倫理・人権・環境基準に基づき、グローバルなサプライチェーンネットワークを運営しています。これらの基準を定期的に評価・更新し、新しい取り組みを開始し、より良いリソースとシステムに投資し、サプライヤーとのエンゲージメントプロセスを強化して、お客様や地域社会にプラスの影響を与えることを目指しています。

サプライヤーの責任の確認

当社のサプライヤー行動規範では、サプライヤーが倫理的行動、労働慣習、人権、環境保護に関する原則を順守することを定めています。現在、Emerson のサプライチェーン支出の 3 分の 1 以上がこの条項の同意を求める契約に基づいていますが、当社では、この割合を経時的に増やしていくよう取り組んでいます。また、すべての管轄区域における発注条件を更新して、サプライヤーに当社のサプライヤー行動規範の遵守を具体的に要請しています。

サプライヤーのサプライヤー行動規範に対する認識と遵守状況を評価し、また、サプライヤー自身の企業の社会的責任に関する方針を理解するために、740 を超えるサプライヤーに対して定期的な調査を実施しています。2018 年にサプライヤー適格性評価モジュールが始まって以来、年間の直接的なサプライヤー

サプライチェーンの ESG 重点分野



- REACH
- RoHS
- WEEE
- 紛争鉱石
- GHG 排出量



- マイノリティ・ダイバーシティ、
層や女性を
有する
サプライヤー
(米国)
- 強制的労働/児童就労
職場の
安全性
- エクイティ、
インクルージョン



- 倫理的行動
- 利益相反
- 腐敗防止
- サプライチェーンセキュリティ

54.5 億ドル

2021 年度に Emerson が世界中の
サプライヤに支払った直接材料費。

20,000+

2021 年度の世界中の Emerson
サプライヤ数。

支出の 70% をカバーしています。この直接的なエンゲージメントプロセスにより、環境、社会、ガバナンスの情報について、サプライヤとのオープンな対話のメカニズムが提供されるようになります。

当社では、当社の電子調達イニシアティブへの参加を希望するサプライヤに対し、サプライヤ行動規範を理解して遵守することに同意した上で入札を行うよう求めています。また、当社の適格性評価プロセスの一環として、新規サプライヤの現地視察も数多く実施しています。

地域調達

Emerson では、長年にわたり地域化戦略を取り入れ、地域市場で製造や調達を行って、お客様への対応力を高めてきました。2021 年、支出の 83% が地域化されました。投資によりローカライズの機会が増えるにつれて、この割合は増加することでしょう。

こうした長期的な取り組みにより、スピード化、コスト削減、キャッシュフロー創出、リスク軽減実現しながら、現地のお客様のニーズや事業国の規制要件をサポートしています。当社の戦略は、地域のサプライヤやコミュニティに経済的利益だけでなく、輸送関連に伴う排出量の削減など環境面でも利益をもたらしています。

サプライヤのサステナビリティを促進

サプライチェーンでの環境サステナビリティに対する当社の取り組みの一環として、Emerson は今後も、廃棄物量の最小化、排出量の削減、より持続可能な社会の構築への取り組みにおいて、サプライヤに働きかけてサポートしていきます。2021 年 10 月、主要サプライヤとともに Greening Together Summit に初めて参加し、環境サステナビリティや脱炭素化に関する意見やベストプラクティスの情報交換を行いました。今後、これらの重要なサプライヤとともに、サプライチェーンの主要なカテゴリごとに、二酸化炭素削減のロードマップと活動を策定していきます。

EMERSON サプライチェーンの研修

Emerson では、倫理的かつ革新的で持続可能なサプライチェーンの実践を推進するプロセスの改善に力を注いでいます。責任を持って行動するには、さまざまな地域、文化、ビジネス慣行でのサプライヤが関わる広範で複雑な問題に関する知識が必要です。2021 年 10 月、サプライヤと関与する Emerson 従業員向けのサプライヤ行動規範研修プログラムが始まりました。研修プログラムには、300 名以上のサプライチェーンの専門家が登録されています。また、サプライヤに対しても、重要な ESG トピックに焦点を当てたサプライヤ行動規範のトレーニングプログラムを開始しました。



Greening Together Summit に出席した Emerson 最高サステナビリティ責任者の Mike Train 氏。



Greening Together Summit でプレゼンテーションをする Vanessa McKenzie 氏。

EMERSON の従業員ができること:

持続可能な将来にサプライヤを 関与させる

Vanessa McKenzie 氏は、Emerson サプライチェーン M&A およびベンダー管理組織 コーポレートバイスプレジデント兼法務グループリーダーです。環境サステナビリティ運営委員会のメンバーとして、サプライヤ業務を含め、当社の事業のあらゆる面にサステナビリティ目標を盛り込むためのサポートをしています。最近では、主要サプライヤとともに一連の Greening Together Summit の開催をサポートして、ベストプラクティスに関する情報交換を行ったり、共同で二酸化炭素削減ロードマップを開発したりしました。Vanessa 氏は、Emerson とサプライチェーンパートナーが一丸となって環境サステナビリティの目標に大きな影響を与えることができると確信しています。

サイバーセキュリティ

今日のバーチャル環境において、
オペレーションとお客様を強化します。



サイバーセキュリティ体制の強化

職場やビジネスプロセスの急速なデジタル化は、パンデミックにより拍車がかかり、世界で最も重要な業界や企業にとって、サイバーセキュリティへの高い関心が必要とされています。サイバー関連のイベントは複雑化し、その頻度も増加の一途をたどっており、対応には絶え間ない努力が必要とされています。

Emerson の内部サイバーセキュリティプロセスをテストし、強化するために、主要データセンターとエンタープライズ IT 組織の主要要素においては、独立したサードパーティによる監査を利用して、ISO 27001（情報セキュリティ管理の国際基準）との整合性を確保しています。また、事業所では、製造する製品やサービスの性質に応じて、ISA 62443 や SOC2 などの追加的なセキュリティフレームワークも活用しています。

Emerson では、アメリカ国立標準技術研究所の Cybersecurity Framework と連携することで、お客様に提供されるエンタープライズ IT インフラストラクチャをはじめ、サイバーセキュリティソリューションやサービスにおいて、堅牢性や効率性を維持することができるようになります。さらに、定期的にサードパーティのサービスを利用して、サイバーセキュリティの完成度を評価したり、サイバーセキュリティ制御の総合的な効果をテストしたりしています。

また、全社的な情報セキュリティに関するポリシーや手続きも確立されています。Emerson の従業員においては、毎年行われるサイバーセキュリティ研修に参加することになっています。

最高情報セキュリティ責任者は、監査委員会に対して四半期ごとに情報セキュリティに関するブリーフィングを行い、当社のサイバーセキュリティプロセスの強力なガバナンスの確保に役立てています。



レポート

国連の持続可能な開発目標

国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」が提示している人々や地球の平和と繁栄のための共同計画は、今や未来にも及んでいます。

Emerson は、世界が直面している環境、社会、経済のさまざまな課題に対処することを目指し、SDGs に貢献するための最善の解決策を見出す努力を続けています。

当社の活動、プログラム、およびそれらが関連する SDGs の例は、ここおよび本レポート全体を通して示されています。



目標 4 - 質の高い教育をみんなに

特に教育は重要な分野です。教育は、恵まれないコミュニティやマイノリティ層にとって大きなチャンスを生み出す触媒となり得るからです。あらゆる人々にとって公平性のある未来を構築するという Emerson ビジョンの一環として、2022 年には、今後 10 年間で慈善寄付金のうち 2 億ドルを、特に幼児期から高校までの子どもや若者の発達と教育体験に焦点を当て、教育の不平等という重大な問題に取り組む非営利団体や教育機関によるプログラムやイニシアチブに割り当てることを誓約しました。Emerson は、専門学校や大学への支援も行っています。たとえば、Emerson では、Ozarks Technical Community College (OTC) で計画されている Center for Advanced Manufacturing の設立に対して、50 万ドルの寄付を約束しています。センターでは、ロボット工学、メカトロニクス、オートメーションなどの最新製造法の研修や教育が行われることになっています。

また、こちらをご覧ください: [大学および専門学校プログラム \(50 ページ\)](#)、[米国における慈善活動の焦点が資格差のニーズに移る \(53 ページ\)](#)、[STEM 教育 \(55 ページ\)](#)

目標 5 - ジェンダーの公平性を実現しよう

2021 年、Emerson では、ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン (DE&I) の壮大な目標に向けて前進していく中で、2030 年までに女性の代表者を倍増させ、世界中のリーダーシップの 40% を女性、30% をマイノリティ層とする、という包括性 (インクルージョン) へのコミットメントも常に大事にしてきました。

長年にわたり、Emerson の Women's Impact Network では、世界中の女性従業員のためにサポートや人脈作りの機会を提供してきました。2021 年、5,000 名のメンバーからなるこのグループは、組織全体で 100 支部目というマイルストーンを達成しました。グループの成長に加え、Women's Impact Network は、指導的立場にある女性の数の増加、定期的なウェビナーの開催、Society of Women Engineers やいくつかの大学との提携による STEM 分野の新世代の女性の会社への誘致を支援し、Emerson を組織として前進させることに役立っています。

こちらをご覧ください: [女性やマイノリティ層の代表者を増やす \(39 ページ\)](#)、[従業員リソースグループ \(41 ページ\)](#)、[最近のコーポレートガバナンス活動 \(59 ページ\)](#)



6 安全な水とトイレ
を世界中に

目標 6 – 安全な水とトイレを 世界中に

Emerson では、流体制御の製品やソリューションを使用して、水の品質を向上させ、お客様が清潔かつ安全で、規制に準拠した水を利用できるようサポートして、利用する飲料水の安全性を高められるよう努めていきます。当社のテクノロジーでは、北米で使用される水や廃水に対して1日あたり120億ガロンの処理が自動化され、清浄水として処理されるのは30%以上になります。当社では、1日あたり45億ガロン以上の処理プロセスを自動化することにより、信頼できる持続可能な清浄水の供給を維持できるようサポートします。また、Emerson のテクノロジーを使用すると、清浄水の処理効率が改善され、化学薬品の使用量が10%削減されるようになり、北米地域に高品質で安全な飲料水がもたらされるようになります。

さらに、当社は、米国最大級の廃水処理プラントの1つである Great Lakes Water Authority (GLWA) の廃水プロジェクトも完了し、コスト削減とプロセスの品質向上を実現しました。



7 エネルギーをみんな
にそしてクリーンに

目標 7 – エネルギーをみんなに そしてクリーンに

Emerson は、お客様の脱炭素化戦略を支援し、エネルギー効率を向上させるために、環境に配慮した持続可能なソリューションの提供に取り組んでいます。たとえば、Emerson は、アメリカ合衆国エネルギー省の信頼のおけるパートナーとして、より持続可能な気候変動対策テクノロジーの開発に取り組んでいます。一方、現在、オークリッジ国立研究所とともに9つの異なるプロジェクトに取り組み、ヒートポンプソリューションから低コストの冷暖房用蓄熱まで、エネルギー効率の向上を目指しています。

また、国立再生可能エネルギー研究所 (NREL) とも提携して、建物の運用効率向上を目指して、研究開発を進めています。NREL は、世界中のエネルギーシステムの回復力、効率、購入しやすさを強化するグリッドインタラクティブビルの開発を通じて、エネルギーのあり方を変えています。

こちらをご覧ください: [グリッドの脱炭素化を促進 \(25 ページ\)](#)、[Emerson による環境保護 \(26 ページ\)](#)、[大手調査機関とのコラボレーション \(35 ページ\)](#)



8 働きがいも
経済成長も

目標 8 – 働きがいも経済成長も

2021 年、Emerson は米国の STEM 教育プログラムに 260 万ドルの投入を約束しました。STEM 教育へのサポートやキャリア機会への意識を高めるために長期にわたり取り組まれている「We Love STEM」活動は、12 カ国の数千人の子供たちに展開されています。この従業員ボランティアによる活動は 2021 年にもバーチャル形式で継続されました。

こちらをご覧ください: [研修と能力開発 \(48 ページ\)](#)、[従業員の能力開発 \(49 ページ\)](#)、[STEM 教育 \(55 ページ\)](#)、[職場の安全性 \(64 ページ\)](#)、[地域調達 \(68 ページ\)](#)

9 産業を技術革新の
基盤をつくらう

目標 9 - 産業と技術革新の基盤をつくらう

2021年、Emerson は、顧客の真の課題を解決する最先端のテクノロジーへの早期アクセスを提供することでイノベーションを加速させることを目的としたコーポレートベンチャーキャピタル構想である Emerson Ventures に 1 億ドルの拠出を約束しました。この投資のコミットメントは、画期的なディスクリートオートメーションソリューション、環境にやさしい持続可能なテクノロジー、主要産業における産業用ソフトウェアの開発に貢献します。私たちの目標は、環境に優しい未来に向けたイノベーションを推進するソリューション、ソフトウェア、テクノロジーを推進する継続的なコミットメントの一環として、5 年間にわたり毎年 4~6 社の初期段階のスタートアップ企業に投資を行うことです。

Emerson は、New York Power Authority (NYPA) の、2,525 MW の設備容量を持つ Robert Moses Niagara Power Plant の大規模な近代化プロジェクトにも自動化ソフトウェアとテクノロジーを提供しています。NYPA は米国最大の州電力公社で、16 の発電施設と 1,400 回線以上の高圧送電線を運営しています。Emerson は、プラントの信頼性向上に貢献する分散型制御システムを導入し、すべての設定と試運転サービスを支援します。

こちらをご覧ください: [電化とシステム統合 \(29 ページ\)](#)、[革新的なブレークスルーテクノロジーへの投資 \(32 ページ\)](#)、[リーダーやコミュニティの招集 \(36 ページ\)](#)

12 つくる責任
つかう責任

目標 12 - つくる責任つかう責任

Emerson では、当社とお客様が責任を持って地球の資源を最大限に活用できるよう、日々取り組んでいます。たとえば、当社の Lumity Site Supervisor が提供する HVACR の照明や建物では、電力消費を削減することができます。

スマートホームソリューションの Sensi™ スイートでは、お客様が自宅や会社で、冷暖房の効率目標を制御したり達成したりすることができるようになります。今年、Emerson は Ameren Missouri と提携して、エネルギー削減を行いながら暖房費の削減を目指す Ameren Missouri 社の顧客に Sensi スマートサーモスタットを贈呈しました。

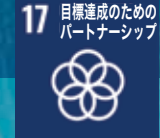
こちらをご覧ください: [Emerson が目指すのはネットゼロ排出の達成 \(11 ページ\)](#)、[環境サステナビリティとネットゼロ社会へのアプローチ \(10 ページ\)](#)、[GHG 排出量の削減 \(14 ページ\)](#)、[エネルギー源の脱炭素化 \(28 ページ\)](#)、[イノベーションで未来を支える \(52 ページ\)](#)、[従業員の能力開発 \(49 ページ\)](#)





目標 13 – 気候変動に具体的な対策を

Emerson は、自社がネットゼロ排出を目指すことは、より持続可能なビジネスを構築し、より持続可能な世界に貢献するための重要なステップであると認識しています。その結果、Emerson では、2021 年を基準値として、2045 年までにスコープ 1、2、3 全体で温室効果ガス（GHG）排出量をネットゼロにする目標を設定しました。ネットゼロ排出の計画では、GHG 排出量の絶対量を 90% 以上削減することを目標とし、削減できない残留排出物については、生態系の他の部分で高品質のカーボンニュートラルができるようにするものです。短期的には、2030 年までにスコープ 1 および 2 の GHG 排出量に関するオペレーションにおいてネットゼロにすることを目標にし、スコープ 3 においては、同じ期間で GHG 排出量を絶対的に 25% 削減することを目標にしています。Emerson の短期目標は、SBTi により承認されていますが、長期的なネットゼロ目標計画については、現在申請の準備を行っています。



目標 17 – パートナーシップで目標を達成しよう

このような壮大な目標を推進する上で、1 つの組織やポリシーソリューションだけでは、私たちが直面する課題に対処することはできません。Emerson は、世界的なサステナビリティの課題に対処するための革新的なソリューションを開発するため、幅広い戦略的コラボレーションに積極的に参加しています。連携先としては、アメリカ合衆国エネルギー省、国立再生可能エネルギー研究所、ケンブリッジ大学、欧州クリーン水素同盟、Business Ambition for 1.5°C、RE100、Clean Energy Buyer's Association、エネルギーエンジニア協会、EPA's Energy Star Partnership など、数多くあります。

最高サステナビリティ責任者 Mike Train 氏は、政策立案者、大学、お客様、他の利害関係者との外部的な連携を引き続き推進し、目標 17 への貢献をさらに強化していきます。

こちらをご覧ください: Emerson との環境保護 (33 ページ)、女性やマイノリティ層の代表者を増やす (39 ページ)、従業員の能力開発 (49 ページ)

Lebanon (ミズーリ州) の Copeland コンプレッサの事業所では、2021 年に Energy Treasure Hunt を完了し、いくつかの重要なエネルギー削減プロジェクトを実施しています。この施設では、電力も 100% 再生可能エネルギー源から利用しており、ネットゼロオペレーションの達成への取り組みにおいて大きく前進しています。

こちらをご覧ください: 環境サステナビリティとネットゼロ社会へのアプローチ (10 ページ)、GHG 排出量の削減 (14 ページ)、Emerson による環境保護 (26 ページ)、Emerson との環境保護 (33 ページ)

GRI インデックス

次の情報は、主なグローバルレポーティングイニシアチブ（GRI）スタンダードの参照事項です。レポートのフレームワークとして、さまざまな重要トピックで幅広く使用されています。GRI フレームワークは、Emerson などの組織向け

の構成となり、事業運営による環境的、社会的、経済的な影響を伝えることができます。GRI の詳細情報については、[GlobalReporting.org](https://www.globalreporting.org) をご覧ください。

公開	GRI 標準の公開タイトル	場所 / 対応	関連の国連 SDGs
102-1	組織名	Emerson Electric Co.	
102-2	活動、ブランド、製品、サービス	2021 年度 Emerson ESG レポート：会社概要、 6 ページ Emerson 2021 Form 10-K：Item 1 - 事業	
102-3	本社所在地	Emerson Electric Co., 8000 West Florissant Avenue, P.O. Box 4100, St. Louis, MO 63136 USA	
102-4	事業運営場所	Emerson.com：お問い合わせ Emerson 2021 Form 10-K：Item 2 - 資産 Emerson.com：企業概要	
102-5	所有権と法令書式	Emerson.com：コーポレートガバナンス（組み込み記事）	
102-6	参入市場	Emerson 2021 Form 10-K：Item 1 - 事業 Emerson.com：オートメーションソリューションズ Emerson.com：コマーシャル & レジデンシャルソリューションズ	
102-7	組織規模	Emerson 2021 Form 10-K：Item 1- 事業；Item 2 - 資産；運用の結果、15 ページ 2021 年度 Emerson ESG レポート：会社概要、 6 ページ	

公開	GRI 標準の公開タイトル	場所 / 対応	関連の国連 SDGs
102-8	従業員および他の労働者に関する情報	部分的報告：2021 年度 ESG レポート：会社概要、 <u>6 ページ</u> ； Emerson ワークフォース・ダイバーシティリーダーシップの代表者、 <u>39 ページ</u> Emerson 2021 Form 10-K：Item 1 - 事業	8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう
102-9	サプライチェーン	Emerson 2021 Form 10-K：Item 1 - 事業 2021 年度 ESG レポート：サプライチェーン、 <u>67 ページ</u>	8 働きがいも経済成長も
102-10	組織とサプライチェーンでの大きな変化	Emerson 2021 Form 10-K：Item 1 - 事業 2021 年度 Emerson 年次レポート：株主向け書簡	
102-11	予防原則またはアプローチ	2021 年度 Emerson ESG レポート：コーポレートガバナンス（リスク管理と監督）、 <u>60 ページ</u> Emerson 2021 Form 10-K：Item 1A リスクファクター	
102-12	外部イニシアチブ	Emerson 業界団体 2021 年度 Emerson ESG レポート、ネットゼロ社会に向けたコラボレーション：Emerson との環境保護、 <u>33 ページ</u>	17 パートナリシップで目標を達成しよう
102-13	業界団体メンバー	Emerson.com：コーポレートガバナンス（業界団体とロビー活動）	17 パートナリシップで目標を達成しよう
102-14	上級意思決定者のステートメント	2021 年度 Emerson ESG レポート：CEO からのメッセージ、 <u>3 ページ</u>	
102-15	主な影響、リスク、機会	2021 年度 Emerson ESG レポート：コーポレートガバナンス（リスク管理と監督）、 <u>60 ページ</u> Emerson 2021 Form 10-K：Item 1A - リスクファクター 2021 年度 Emerson 年次レポート、 <u>12～13 ページ</u>	
102-16	価値観、原則、基準、行動規範	2021 年度 Emerson ESG レポート：当社の価値観、 <u>8 ページ</u> ；誠実さと倫理、 <u>61 ページ</u> Emerson.com：コーポレートガバナンス（企業倫理）	16 平和と公正をすべての人に
102-17	倫理に関する助言や懸念に関するメカニズム	Emerson.com：コーポレートガバナンス（倫理およびコンプライアンス） 2021 年度 ESG レポート：誠実さと倫理（倫理ホットラインと報告プロセス）、 <u>62 ページ</u>	16 平和と公正をすべての人に

公開	GRI 標準の公開タイトル	場所 / 対応	関連の国連 SDGs
102-18	ガバナンス構造	2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：取締役会およびコーポレートガバナンス、7 ページ 2021 年度 Emerson ESG レポート：コーポレートガバナンス、58 ページ Emerson.com：コーポレートガバナンス（原則および慣行）	
102-19	権限の委任	2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：取締役会およびコーポレートガバナンス（環境、社会、ガバナンス）、7 ページ 2021 年度 Emerson ESG レポート：環境サステナビリティとネットゼロ社会へのアプローチ、10 ページ Emerson.com：コーポレートガバナンス（原則および慣行 - 取締役会の監督） Emerson.com：コーポレートガバナンスおよび指名委員会憲章	
102-20	経済的、環境的、社会的なトピックにおける幹部クラスの問題	2021 年度 Emerson ESG レポート：CEO からのメッセージ、3 ページ	13 気候変動に具体的な対策を
102-21	経済的、環境的、社会的なトピックに関する利害関係者の意見	2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：取締役会、2 ページ；コーポレートガバナンス、9 ページ（利害関係者エンゲージメント）	16 平和と公正をすべての人に
102-22	最高ガバナンス組織の構成および委員会	Emerson.com：コーポレートガバナンス 2021 年度 Emerson ESG レポート：コーポレートガバナンス（取締役会のポリシー）、58 ページ 2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：取締役会、2 ページ；取締役会および委員会運営、7～18 ページ（取締役会構成）	5 ジェンダー平等を 実現しよう 16 平和と公正を すべての人に
102-23	最高ガバナンス組織の会長	Emerson.com：コーポレートガバナンス（原則および慣行） 2021 年度 Emerson ESG レポート：コーポレートガバナンス（取締役会のポリシー）、58 ページ 2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：取締役会およびコーポレートガバナンス、9 ページ（取締役会リーダーシップ構造）	
102-24	最高ガバナンス組織の指名および選出	Emerson.com：コーポレートガバナンス（原則および慣行） 2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：取締役会およびコーポレートガバナンス、13 ページ（指名プロセス）	5 ジェンダー平等を 実現しよう 16 平和と公正を すべての人に
















公開	GRI 標準の公開タイトル	場所 / 対応	関連の国連 SDGs
102-25	利益相反	2021 年度 ESG レポート：誠実さと倫理（利益相反の評価および報告）、 <u>62 ページ</u> 2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：取締役会およびコーポレートガバナンス、 <u>10 ページ</u> （レビュー、関係者による取引承認または批准） 企業の社会的責任：運営責任（誠実さと倫理）	16 平和と公正を すべての人に
102-26	目的、価値観、戦略の設定に関する最高ガバナンス組織の役割	2021 年度 Emerson ESG レポート：コーポレートガバナンス（最近のコーポレートガバナンス活動）、 <u>59 ページ</u> Emerson.com：コーポレートガバナンス（原則および慣行） Emerson.com：コーポレートガバナンスおよび指名委員会憲章 2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：取締役会およびコーポレートガバナンス （環境、社会、ガバナンス）、 <u>7 ページ</u>	
102-27	最高ガバナンス組織の集合知	Emerson のシニアバイスプレジデント ゼネラルカウンセル兼セクレタリーが、毎年、企業責任のトピックでコーポレートガバナンスや指名委員会にブリーフィングを行います。	
102-28	最高ガバナンス組織のパフォーマンスを評価	2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：取締役会およびコーポレートガバナンス、 <u>13 ページ</u> （取締役会および委員会の評価）	
102-29	経済的、環境的、社会的な影響の確認および管理	Emerson.com：コーポレートガバナンスおよび指名委員会憲章 2021 年度 Emerson ESG レポート：コーポレートガバナンス（リスク管理と監督）、 <u>60 ページ</u> 2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：取締役会およびコーポレートガバナンス （環境、社会、ガバナンス）、 <u>7 ページ</u>	16 平和と公正を すべての人に
102-30	リスク管理プロセスの効果	2021 年度 Emerson ESG レポート：コーポレートガバナンス（リスク管理と監督）、 <u>60 ページ</u> 2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：取締役会およびコーポレートガバナンス、 <u>7 ページ</u> （環境、社会、ガバナンス（ESG））	
102-31	経済的、環境的、社会的なトピックをレビュー	2021 年度 Emerson ESG レポート：コーポレートガバナンス（リスク管理と監督）、 <u>60 ページ</u> 2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：取締役会およびコーポレートガバナンス （環境、社会、ガバナンス）、 <u>7 ページ</u> Emerson.com：コーポレートガバナンスおよび指名委員会憲章	

公開	GRI 標準の公開タイトル	場所 / 対応	関連の国連 SDGs
102-32	サステナビリティに関するレポートにおける最高ガバナンス組織の役割	環境・社会・ガバナンスに関するレポートは、Emerson 取締役会のコーポレートガバナンスおよび指名委員会でレビューされます。	
102-33	重要な懸念事項の連絡	<u>2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：会社との連絡手段および Emerson 文書の入手、66 ページ</u> <u>2021 年度 ESG レポート：誠実さと倫理（倫理ホットラインと報告プロセス）、62 ページ</u>	16 平和と公正をすべての人に
102-35	報酬ポリシー	<u>2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：幹部クラスの報酬、19～38 ページ</u>	16 平和と公正をすべての人に
102-36	報酬決定のプロセス	<u>2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：幹部クラスの報酬、19～38 ページ</u>	16 平和と公正をすべての人に
102-37	報酬における利害関係者の関与	<u>2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：幹部クラスの報酬に関する招集通知項目番号の諮問投票、59 ページ</u>	16 平和と公正をすべての人に
102-38	年次報酬総額の比率	<u>2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：報酬比率の開示、50 ページ</u>	16 平和と公正をすべての人に
102-40	利害関係者グループリスト	<u>Emerson.com：コーポレートガバナンス（業界団体とロビー活動）</u> <u>レポートに記されている他の組織</u>	
102-41	団体協約	<u>2021 年度 Emerson ESG レポート：従業員エンゲージメント（労使関係）、46 ページ</u>	8 働きがいも経済成長も
102-42	利害関係者の特定および選出	Emerson は、従業員、お客様、投資家やアナリスト、コミュニティリーダー、サプライヤ、当局、NGO からのフィードバックを求め、これを活用して環境、経済、地域コミュニティに対する当社の活動の懸念や影響を把握します。	
102-43	利害関係者エンゲージメントへのアプローチ	<u>2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：取締役会、取締役会およびコーポレートガバナンス、2 ページ、7 ページ</u> <u>2021 年度 Emerson ESG レポート：ネットゼロ社会に向けたコラボレーション：Emerson との環境保護、33 ページ</u>	17 パートナリシップで目標を達成しよう
102-45	連結決算表に含まれているエンティティ	<u>Emerson 2021 Form 10-K：Emerson Electric Co. 子会社、2021 年 9 月 30 日</u>	

公開	GRI 標準の公開タイトル	場所 / 対応	関連の国連 SDGs
102-48	情報の修正再表示	2021 年度 Emerson ESG レポート：ネットゼロ社会に向けたコラポレーション：Emerson の環境保護、 14 ページ	
102-50	レポート期間	2021 年度 Emerson ESG レポート：本レポートについて、 100 ページ	
102-51	最新レポートの日付	2021年6月15日	
102-52	レポート周期	2021 年度 Emerson ESG レポート：本レポートについて、 100 ページ	
102-53	レポートに関する問い合わせ窓口	2021 年度 Emerson ESG レポート：本レポートについて、 100 ページ	
102-54	GRI 標準準拠のレポートに対する異議申し立て	本資料は、本インデックスでの説明のとおり、2018 年 GRI 標準を参照しています。 2021 年度 ESG レポート：本レポートについて、 100 ページ	
102-55	GRI コンテンツインデックス	2021 年度 Emerson ESG レポート：GRI 標準インデックスの参照、 76 ページ	
201-1	直接的な経済的価値の発生と分散	Emerson 2021 Form 10-K：運用の結果	8 働きがいも経済成長も
201-2	気候変動による財務関連のリスクや可能性	Emerson 2021 Form 10-K：Item 1A - リスクファクター、8 ページ Emerson 2021 CDP 対応	13 気候変動に具体的な対策を
201-3	福利厚生計画の義務および他の退職金制度の定義	Emerson 2021 Form 10-K：連結注記表；退職金制度	
203-1	インフラストラクチャへの投資とサービスのサポート	2021 年度 Emerson ESG レポート：企業の社会的責任（業界の管理）、 51 ページ ； （企業慈善活動）、 53 ページ	5 ジェンダー平等を 実現しよう 9 産業を技術革新の 基盤をつくらう 11 住み続けられる まちづくりを

公開	GRI 標準の公開タイトル	場所 / 対応	関連の国連 SDGs
203-2	著しい間接的な経済的影響	2021 年度 Emerson ESG レポート：従業員の能力開発、 49 ページ ；企業の慈善活動、 53 ページ ；STEM 教育、 55 ページ	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="background-color: #d62728; color: white; padding: 2px;">1 貧困をなくそう</div> <div style="background-color: #2ca02c; color: white; padding: 2px;">3 すべての人に健康を福祉を</div> <div style="background-color: #d62728; color: white; padding: 2px;">4 質の高い教育をみんなに</div> <div style="background-color: #8c564b; color: white; padding: 2px;">8 働きがいも経済成長も</div> </div>
204-1	支出に占める地域のサプライヤの割合	2021 年度 Emerson ESG レポート：サプライチェーン（地域調達）、 68 ページ	<div style="background-color: #8c564b; color: white; padding: 2px;">8 働きがいも経済成長も</div>
205-2	腐敗防止ポリシーおよび手続きに関する連絡や研修	部分的報告：2021 年度 ESG レポート：誠実さと倫理（腐敗防止の統制）、 63 ページ	<div style="background-color: #1f77b4; color: white; padding: 2px;">16 平和と公正をすべての人に</div>
205-3	腐敗インシデントおよび実行措置の確認	SEC に提出された定期報告のレポート期間中において、Emerson では、開示が求められる重要レベルの腐敗インシデントは確認されませんでした。	<div style="background-color: #1f77b4; color: white; padding: 2px;">16 平和と公正をすべての人に</div>
206-1	反競争的行為、反トラスト、独占的行為に対する法的措置	SEC に提出された定期報告のレポート期間中において、Emerson では、開示が求められる重要レベルの反競争的行為や反トラスト法および独占法の違反を申し立てる法的措置への関与は一切確認されませんでした。	<div style="background-color: #1f77b4; color: white; padding: 2px;">16 平和と公正をすべての人に</div>
207-1	租税へのアプローチ	租税原則に関する Emerson ステートメント	
207-2	税金のガバナンス、管理、リスク管理	租税原則に関する Emerson ステートメント	
207-3	租税関連の懸念事項における利害関係者のエンゲージメントおよび管理	租税原則に関する Emerson ステートメント	
301-1	重量または量単位で使用される材料	部分的報告：2021 年度 ESG レポート：ネットゼロオペレーションの推進：Emerson の環境保護（製品のライフサイクルアセスメントを活用）、 24 ページ	<div style="background-color: #ffc107; color: white; padding: 2px;">12 つくる責任つかう責任</div>

公開	GRI 標準の公開タイトル	場所 / 対応	関連の国連 SDGs
302-1	組織内のエネルギー消費量	2021 年度 Emerson ESG レポート：ネットゼロ社会に向けたコラボレーション： Emerson の環境保護、 <u>14 ページ</u> ； 環境データ、 <u>95 ページ</u> <u>CDP 気候変動レポート 2021</u>	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="background-color: #f1c232; padding: 2px;">7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</div> <div style="background-color: #800000; color: white; padding: 2px;">8 働きがいも経済成長も</div> <div style="background-color: #c48e3a; padding: 2px;">12 つくる責任 つかう責任</div> <div style="background-color: #4f7942; padding: 2px;">13 気候変動に 具体的な対策を</div> </div>
302-3	エネルギー濃度	2021 年度 Emerson ESG レポート：環境データ、 <u>95 ページ</u>	
302-4	エネルギー消費量の削減	部分的報告：2021 年度 ESG レポート：環境サステナビリティとネットゼロ社会へのアプローチ (Emerson が目指すのはネットゼロ排出の達成)、 <u>11 ページ</u> ； ネットゼロオペレーションの推進：Emerson の環境保護、 <u>14 ページ</u> ；環境データ、 <u>95 ページ</u>	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="background-color: #f1c232; padding: 2px;">7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</div> <div style="background-color: #800000; color: white; padding: 2px;">8 働きがいも経済成長も</div> <div style="background-color: #c48e3a; padding: 2px;">12 つくる責任 つかう責任</div> <div style="background-color: #4f7942; padding: 2px;">13 気候変動に 具体的な対策を</div> </div>
303-1	共用資源としての水の相互作用	部分的報告：CDP 水セキュリティレポート 2021	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px;">6 安全な水とトイレを 世界中に</div> <div style="background-color: #c48e3a; padding: 2px;">12 つくる責任 つかう責任</div> </div>
303-3	取水	<u>CDP 水セキュリティレポート 2021</u>	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px;">6 安全な水とトイレを 世界中に</div> <div style="background-color: #c48e3a; padding: 2px;">12 つくる責任 つかう責任</div> </div>
303-5	消費水量	部分的報告：2021 年度 Emerson ESG レポート：ネットゼロオペレーションの推進：Emerson の 環境保護（水消費量）、 <u>19 ページ</u>	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px;">6 安全な水とトイレを 世界中に</div> <div style="background-color: #c48e3a; padding: 2px;">12 つくる責任 つかう責任</div> </div>

公開	GRI 標準の公開タイトル	場所 / 対応	関連の国連 SDGs
305-1	直接的な（スコープ1）GHG 排出量	2021 年度 Emerson ESG レポート：ネットゼロオペレーションの推進：Emerson の環境保護（温室効果ガス）、 15 ページ ；環境データ、 95 ページ	    
305-2	エネルギーの間接的な（スコープ2）GHG 排出量	2021 年度 Emerson ESG レポート：ネットゼロオペレーションの推進：Emerson の環境保護（温室効果ガス）、 15 ページ ；環境データ、 95 ページ	    
305-3	その他の間接的な（スコープ3）GHG 排出量	2021 年度 Emerson ESG レポート：2045 年までにバリューチェーン全体でネットゼロ（スコープ3 フットプリントを確立し、データ品質や分析を改善する）、 22 ページ ；環境データ、 95 ページ	    

公開	GRI 標準の公開タイトル	場所 / 対応	関連の国連 SDGs
305-4	GHG 排出原単位	2021 年度 Emerson ESG レポート：ネットゼロオペレーションの推進：Emerson の環境保護、 14 ページ ； 環境データ、 95 ページ	3 すべての人に健康を福祉を 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう
305-5	GHG 排出量削減	2021 年度 Emerson ESG レポート：ネットゼロオペレーションの推進：Emerson の環境保護、 14 ページ ； 環境データ、 95 ページ	3 すべての人に健康を福祉を 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう
307-1	環境関連法および規制の不履行	2021 年度 Emerson ESG レポート：Emerson の環境保護（環境コンプライアンスの遵守）、 19 ページ 2021 年度、環境規制当局による当社施設の検査が行われ、世界各地で 18 件のインシデントが通知されました。これにより、2021 年の 罰金総額は 9,634 ドルに上りました。	16 平和と公正をすべての人に
308-1	環境基準でスクリーニングされた新しいサプライヤ	部分的報告：2021 年度 Emerson ESG レポート：サプライチェーン、 67 ページ	13 気候変動に具体的な対策を
403-1	職業安全衛生管理システム	部分的報告：2021 年度 Emerson ESG レポート：職場の安全性、 65 ページ	13 気候変動に具体的な対策を 8 働きがいも経済成長も
403-2	危険性の特定、リスクアセスメント、インシデント調査	部分的報告：2021 年度 Emerson ESG レポート：職場の安全性、 64 ページ	3 すべての人に健康を福祉を 8 働きがいも経済成長も

公開	GRI 標準の公開タイトル	場所 / 対応	関連の国連 SDGs
403-3	職業医療サービス	部分的報告：2021 年度 Emerson ESG レポート：職場の安全性、 64 ページ	<div style="background-color: #2e8b57; color: white; padding: 2px; text-align: center;">3 すべての人に健康を福祉を</div> <div style="background-color: #800000; color: white; padding: 2px; text-align: center;">8 働きがいも経済成長も</div>
403-4	職業安全衛生に関する労働者の経営参加、コンサルティング、コミュニケーション	部分的報告：2021 年度 Emerson ESG レポート：職場の安全性、 64 ページ	<div style="background-color: #2e8b57; color: white; padding: 2px; text-align: center;">3 すべての人に健康を福祉を</div> <div style="background-color: #800000; color: white; padding: 2px; text-align: center;">8 働きがいも経済成長も</div>
403-5	職業安全衛生に関する労働者研修	部分的報告：2021 年度 Emerson ESG レポート：職場の安全性、 64 ページ	<div style="background-color: #2e8b57; color: white; padding: 2px; text-align: center;">3 すべての人に健康を福祉を</div> <div style="background-color: #800000; color: white; padding: 2px; text-align: center;">8 働きがいも経済成長も</div>
403-6	労働者保健の促進	2021 年度 Emerson ESG レポート：従業員エンゲージメント（賃金と福利厚生）、 46 ページ	<div style="background-color: #2e8b57; color: white; padding: 2px; text-align: center;">3 すべての人に健康を福祉を</div> <div style="background-color: #800000; color: white; padding: 2px; text-align: center;">8 働きがいも経済成長も</div>
403-7	取引関係に直結した職業安全衛生への影響の予防や軽減	部分的報告：2021 年度 Emerson ESG レポート：職場の安全性、 64 ページ	<div style="background-color: #2e8b57; color: white; padding: 2px; text-align: center;">3 すべての人に健康を福祉を</div> <div style="background-color: #800000; color: white; padding: 2px; text-align: center;">8 働きがいも経済成長も</div>
403-8	職業安全衛生管理システムで守られた労働者	部分的報告：2021 年度 Emerson ESG レポート：職場の安全性、 65 ページ	<div style="background-color: #2e8b57; color: white; padding: 2px; text-align: center;">3 すべての人に健康を福祉を</div> <div style="background-color: #800000; color: white; padding: 2px; text-align: center;">8 働きがいも経済成長も</div>
403-9	業務上のけが	2021 年度 Emerson ESG レポート：職場の安全性（Emerson の世界的な健康と公平性に関するパフォーマンス）、 66 ページ	<div style="background-color: #2e8b57; color: white; padding: 2px; text-align: center;">3 すべての人に健康を福祉を</div> <div style="background-color: #800000; color: white; padding: 2px; text-align: center;">8 働きがいも経済成長も</div>
404-1	従業員 1 人あたりの年間平均研修時間	86,700 名に実施された研修総時間は 688,646.5 時間で、1 人あたりの平均研修時間は 7.9 時間です。	

公開	GRI 標準の公開タイトル	場所 / 対応	関連の国連 SDGs
404-2	従業員のスキルアップや移行サポートに関するプログラム	Emerson.com : キャリア (研修と能力開発) Emerson.com : 人材への投資 (移行サポート) 2021 年度 Emerson ESG レポート : 研修と能力開発、 48 ページ	8 働きがいも経済成長も
404-3	パフォーマンスおよびキャリア開発レビューを定期的に受けている従業員の割合	2021 年度 Emerson ESG レポート : 研修と能力開発 (パフォーマンスレビュー) 、 48 ページ	5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう
405-1	ガバナンス組織や従業員の多様性	2021 年度 Emerson ESG レポート : 社会的責任 (Emerson 従業員の多様性) 、 39 ページ 2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知 : 取締役会の多様性、 3 ページ 2021 年度 Emerson 主な ESG データ : 従業員の多様性	5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も
407-1	協会や団体交渉の自由に関する権利が危険にさらされる可能性のあるオペレーションやサプライヤ	2021 年度 Emerson ESG レポート : 従業員エンゲージメント (労使関係) 、 46 ページ	8 働きがいも経済成長も
408-1	児童就労インシデントのリスクが高いオペレーションやサプライヤ	部分的報告 : 2021 年度 Emerson ESG レポート : 従業員エンゲージメント (人権) 、 47 ページ	8 働きがいも経済成長も 16 平和と公正をすべての人に
409-1	強制労働または強制的労働インシデントのリスクが高いオペレーションやサプライヤ	部分的報告 : 2021 年度 Emerson ESG レポート : 従業員エンゲージメント (人権) 、 47 ページ	8 働きがいも経済成長も

公開	GRI 標準の公開タイトル	場所 / 対応	関連の国連 SDGs
412-1	人権に関するレビューまたは影響アセスメントの対象となるオペレーション	2021 年度 Emerson ESG レポート：サプライチェーン（Emerson サプライチェーンの研修）、 68 ページ	8 働きがいも経済成長も
412-3	人権条項を含む、または人権審査を受けた重要性の高い投資協定および契約	2021 年度 Emerson ESG レポート：サプライチェーン（サプライヤの責任を確認）、 67 ページ	8 働きがいも経済成長も
412-3	人権条項を含む、または人権審査を受けた重要性の高い投資協定および契約	2021 年度 Emerson ESG レポート：サプライチェーン（サプライヤの責任を確認）、 67 ページ	8 働きがいも経済成長も
413-1	地域コミュニティのエンゲージメント、影響アセスメント、能力開発プログラムが伴うオペレーション	部分的報告：2021 年度 Emerson ESG レポート：サプライチェーン（地域調達）、 68 ページ	5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等を なくそう 16 人や国の不平等を なくそう
414-1	社会的基準でスクリーニングされた新しいサプライヤ	2021 年度 Emerson ESG レポート：サプライチェーン（サプライヤの責任を確認）、 67 ページ	5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等を なくそう 16 平和と公正を すべての人に

公開	GRI 標準の公開タイトル	場所 / 対応	関連の国連 SDGs
415-1	政治献金	Emerson.com : 業界団体とロビー活動	16 平和と公正をすべての人に
416-2	製品やサービスによる安全衛生への影響に関するコンプライアンス違反インシデント	SEC に提出された定期報告のレポート期間中において、Emerson では、製品やサービスによる安全衛生への影響に関する規制（自主規制を含む）について、開示が求められる重要レベルのコンプライアンス違反のインシデントは確認されませんでした。	16 平和と公正をすべての人に
417-2	製品やサービスの情報およびラベル表示に関するコンプライアンス違反のインシデント	SEC に提出された定期報告のレポート期間中において、Emerson では、製品やサービスによる安全衛生への影響に関する規制（自主規制を含む）について、開示が求められる重要レベルのコンプライアンス違反のインシデントは確認されませんでした。	16 平和と公正をすべての人に
417-3	マーケティングコミュニケーションに関するコンプライアンス違反のインシデント	SEC に提出された定期報告のレポート期間中において、Emerson では、製品やサービスのマーケティングコミュニケーションに関する規制（自主規制を含む）について、開示が求められる重要レベルのコンプライアンス違反のインシデントは確認されませんでした。	16 平和と公正をすべての人に
419-1	社会的および経済的分野での法令に関するコンプライアンス違反	SEC に提出された定期報告のレポート期間中において、Emerson では、社会的および経済的分野での法令について、開示が求められる重要レベルのコンプライアンス違反のインシデントは確認されませんでした。	16 平和と公正をすべての人に

SASB インデックス

下記の公開情報は、「Resource Transformation – Electrical and Electric Equipment (EE)」と示されている部門向けのサステナビリティ会計基準審議会（SASB）のフレームワークに沿っています。しかし、Emersonのビジネスは多様化しているため、当社は1つの業界内で完全に適合することができません。

そのため、利害関係者に関心があると思われる他の業界部門に沿った指標も含めています。これらが出てきた場合、Emersonでは関連性、高品質データの可用性、競争感度を考慮しながら、追加トピックの公開情報を継続的に評価していきます。

公開情報のトピック	メートル法	SASB コード	単位	Emerson 指標/ 公開場所
温室効果ガス排出量	全世界でのスコープ1 排出総量、排出制限規制の対象となる割合	RT-CH-110a.1	メートルトン (t) CO ₂ e、パーセント (%)	2021 年度 Emerson ESG レポート：排出原単位および温室効果ガス排出量、 15 ページ ：112 326 NK CO ₂ e
	長・短期的な戦略に関する議論、またはスコープ1 排出量、排出量削減目標、目標に対するパフォーマンス分析の管理計画	RT-CH-110a.2	該当なし	2021 年度 Emerson ESG レポート、Emerson が目指すのはネットゼロ排出の達成、 11 ページ ；Emerson の環境保護、 14 ページ CDP 気候変動レポート 2021
エネルギー管理	(1) 総エネルギー消費量、(2) グリッド電力の割合、(3) 再生可能エネルギーの割合	RT-EE-130a.1 RT-IG-130a.1	ギガジュール (GJ) パーセント (%)	環境データ、 95 ページ (1) 使用電力 1,275,440 MWh (2) グリッド電力 96% (3) 再生可能エネルギー 4%
水管理	(1) 水の総取水量、(2) 水の総消費量、高い/極めて高い基準の水分ストレスでの地域各所の割合	RT-CH-140a.1	1,000 立方メートル (m ³)、パーセント (%)	CDP 水セキュリティレポート 2021、セクション W1. 2b、 取水量 3,567 メガリットル
	水質の認可、標準、規制に関するコンプライアンス違反のインシデント数	RT-CH-140a.2	番号	CDP 水セキュリティレポート 2021、セクション W2.2a、 水関連の罰金 3 件（重大とされるものではありません）

公開情報のトピック	メートル法	SASB コード	単位	Emerson 指標/ 公開場所
	水管理リスクの説明と、これらのリスクを軽減するための戦略や実践に関する考察	RT-CH-140a.3	該当なし	<u>CDP 水セキュリティレポート 2021、セクション W3.3</u>
従業員の健康と安全	(1) 記録災害度数率 (TRIR)、(2) 死亡率、(3) ニアミス頻度数率 (NMFR)	RT-IG-320a.1	レート	2021 年度 Emerson ESG レポート、Emerson の世界的な健康公平性に関するパフォーマンス、 <u>66 ページ：労働災害発生率：0.29</u>
企業倫理	次の防止に関するポリシーや慣行を説明： (1) 腐敗や贈賄、(2) 反競争的行為	RT-EE-510a.1	該当なし	2021 年度 Emerson ESG レポート、腐敗防止の統制、63 ページ <u>Emerson 従業員行動規範、贈答品や価値のあるものを渡すことや賄賂の授受、9 ページ；反トラストや反競争的行為、14 ページ</u> <u>Emerson の企業倫理</u> <u>Emerson のサプライヤ行動規範</u>
	贈収賄や腐敗関連の法的手続きにより発生した金銭的損失の総額	RT-EE-510a.2	報告されている通貨	SEC への提出：法的手続きに関する情報は、Form 10-K の年次報告書および Form 10-Q の四半期報告書に記載
	反競争的行為の規制に関する法的手続きにより発生した金銭的損失の総額	RT-EE-510a.3	報告されている通貨	SEC への提出：法的手続きに関する情報は、Form 10-K の年次報告書および Form 10-Q の四半期報告書に記載
措置の指標	従業員数	RT-EE-000-B	番号	<u>Emerson 2021 Form 10-K：Item 1 – 事業、人材リソース：約 86,700 名 (2021 年 9 月 30 日現在)</u>

TCFD インデックス

下記表の公開情報は、Emerson が公開している気候関連情報で、気候関連財務情報開示 (TCFD) タスクフォースが開発したフレームワークが使用されています。ここには、TCFD の

各推奨事項に対する当社の対応と、これらの公開場所が記載されています。

ガバナンス

気候関連のリスクや可能性に関する会社のガバナンスを公開する。

対応の概要

取締役会には、Emerson のリスク管理および戦略を監督する責任があります。これを監督することにより、取締役会では、気候関連のリスクや可能性をはじめ、重要なリスクの特定、報告、アセスメント、管理をタイムリーに可視化できるようになります。コーポレートガバナンスや指名委員会では、会社の環境・社会・ガバナンスに関するレポートをはじめとする気候変動に関する問題など、会社でのサステナビリティに関するイニシアティブの監督において、取締役会をサポートしています。

CEO や最高サステナビリティ責任者は取締役会と直接連携して、温室効果ガス (GHG) 削減目標の進捗を報告したり、ネットゼロ排出目標への進展に向けて取締役会と一体となって対応したりしています。当社のコーポレートオペレーショングループや環境環境業務部では、これらの目標に対するパフォーマンスを監視しています。各ビジネスユニットでは、四半期ごとに自分たちのパフォーマンスを評価したり追跡したりして、会社の管理組織に報告しています。

最高経営責任者のメンバーは、会社のシニアリーダーが大部分を占めますが、彼らの持つ関連の経験は、気候関連の戦略の開発や実行に不可欠となります。環境サステナビリティ運営委員会は、多くの幹部クラスのリーダーで構成されていますが、半年ごとに会議を開いて、会社のサステナビリティ戦略を評価しています。

推奨されている情報公開

- a. 取締役会が監督する気候関連のリスクや可能性を公開する。
- b. 気候関連のリスクや可能性のアセスメントおよび管理における管理組織の役割を説く。

公開の場所

CDP 気候変動レポート 2021、セクション C1.1a、C1.1b
2022 年度 Emerson 年次株主総会招集通知：
[取締役会およびコーポレートガバナンス 7 ページ](#)
([環境、社会、ガバナンス](#))
2021 年度 Emerson ESG レポート：リスク管理と監督
[60 ページ](#)

[CDP 気候変動レポート 2021、セクション C1.2、C1.2a](#)

戦略

気候関連のリスクや可能性による会社の事業、戦略、財政計画への現実的および潜在的な影響を公開する（こうした情報が重要になる場合）。

対応の概要

Emersonでは、グローバルなオペレーションを通じて、持続可能で信頼できる慣行や提供を開発したり維持したりして、お客様や利害関係者に価値をもたらすことを約束します。当社のビジネス戦略や製品開発プロセスでは、気候変動の影響も考慮されています。製品開発、サプライヤエンゲージメント、事業目標、オペレーションおよび財政計画など、ビジネスやバリューチェーン全体の戦略において、気候関連のリスクや可能性が検討されています。

Emersonでは、気候関連のシナリオが最終的に当社のビジネスに影響を与えるものと考えています。そして、このシナリオの分析をビジネス戦略に盛り込んだ長・短期的なサステナビリティ計画を開発しています。さらに、国際的に認識されている気候関連のシナリオ（IEAやIPCCなど）を活用して、お客様向けの製品、専門知識、ソリューションの広範なポートフォリオや、現行のエネルギーシステムで期待される進化に関する戦略を把握し、情報提供を行っています。

推奨されている情報公開

- 短・中・長期的に、会社が認識している気候関連のリスクや可能性について説明する。
- 気候関連のリスクや可能性による会社の事業、戦略、財政計画への影響について説明する。
- 2°C以下の場合のシナリオなど、気候関連の別のシナリオを考慮に入れて、会社の戦略が持つ柔軟性について説明する。

公開の場所

CDP 気候変動レポート 2021、リスクと可能性、セクション C2

CDP 気候変動レポート 2021、セクション C2.3a、C2.4a、C3.1、C3.2、C3.3、C3.4

CDP 気候変動レポート 2021、ビジネス戦略、セクション C3

2021 年度 Emerson ESG レポート、Emerson が目指すのはネットゼロ排出の達成、[11 ページ](#)

リスク管理

会社での気候関連のリスクに対する認識、アセスメント、管理方法を公開する。

対応の概要

Emersonでは、気候関連のリスクは、当社のビジネス、オペレーション、収益に対して財政的にも戦略的にも大きな影響を与える可能性があるものとして認識して、お客様に対するスムーズな製品提供にも影響をもたらすものと考えています。したがって、当社では、さまざまな気候関連リスクは、多岐にわたり一体化された企業全体のリスク管理プロセスの一環として考えています。監査委員会は、リスク管理において取締役会をサポートしています。また、ビジネスオペレーションとして、定期的な監視、緩和、制御も行っています。毎年、会社の気候関連の活動、監査、支出をレビューしています。

推奨されている情報公開

- 気候関連リスクの認識やアセスメントに関する会社のプロセスを説明する。
- 気候関連リスクの管理に関する会社のプロセスを説明する。
- 気候関連リスクの認識、アセスメント、管理のプロセスが、会社全体のリスク管理に組み込まれる仕組みを説

公開の場所

CDP 気候変動レポート 2021、セクション C2.1b、C2.2

CDP 気候変動レポート 2021、セクション C2.2

CDP 気候変動レポート 2021、セクション C1.1a、C1.1b、C1.2、C1.2a

指標と手段

気候関連のリスクや可能性に関するアセスメントや管理で使用される指標や対象を公開する（こうした情報が重要になる場合）。

対応の概要

Emerson では、より持続可能なビジネスを構築して、より持続可能な世界に貢献していくために、自社でネットゼロを目指すことが重要なステップになると認識しています。目標を確固たるものにして最新の気候科学に対応していくために、当社での一連の目標は、科学的根拠に基づく目標設定の採用を促進する世界有数の組織である Science Based Targets イニシアティブ (SBTi) の Net-Zero Standard と足並みをそろえています。

Emerson では、2021 年を基準値として、2045 年までにスコープ 1、2、3 でネットゼロの温室効果ガス排出量を達成する目標を掲げています。確固たるネットゼロ排出の計画では、減らすことができない残余排出量に対し、他のエコシステムで質の高いカーボンニュートラルを実現して、GHG 排出量を絶対的に 90% 以上削減することが求められます。

短期的には、同じく Net-Zero Standard に従い、2030 年までにスコープ 1 および 2 の GHG 排出量に関するオペレーションにおいてネットゼロにすることを目標にしています。Emerson の短期目標は、SBTi により承認されていますが、長期的なネットゼロ目標計画については、現在申請の準備を行っています。

Emerson ではネットゼロ排出目標の一環として、2021 年度 ESG レポートにて、あらゆる関連カテゴリを含め、スコープ 3 排出量フットプリントを初めて全面的に公表しました。

2019 年、Emerson は、2028 年までに売上高換算の温室効果ガス排出量を 20% 削減する目標を発表しました。当社の排出量目標は、当社が所有、運営、オペレーション管理する世界中の全製造施設を対象としています。これは、スコープ 1 および 2 の GHG 排出量の約 80% に相当します。Emerson では、スコープ 1 および 2 の GHG 排出量を公開していますが、前年の報告と比較して排出量が減少しています。

さらに、温室効果ガスプロトコルのプロトコルや、アメリカ合衆国環境保護庁のソースドキュメントを使用して、手段、排出係数、データ収集の手引きも行っています。

推奨されている情報公開

a. 戦略およびリスク管理プロセスに沿って、気候関連のリスクや可能性のアセスメントを行う際に会社が使用する指標を公開する。

b. スコープ 1、2、3（必要に応じて）の温室効果ガス (GHG) 排出量と関連リスクを公開する。

c. 気候関連のリスクや可能性を管理するために会社が掲げる目標や、目標に対するパフォーマンスを説明する。

公開の場所

CDP 気候変動レポート 2021、ビジネス戦略、セクション C3

CDP 気候変動レポート 2021、セクション C2.2a、C6.1、C6.2、C6.3、C7
2021 年度 Emerson ESG レポート、Emerson が目指すのはネットゼロ排出の達成、11 ページ；環境データ、95 ページ

CDP 気候変動レポート 2021、セクション C4.1b
2021 年度 Emerson ESG レポート、Emerson が目指すのはネットゼロ排出の達成、11 ページ；GHG 排出量の削減、14 ページ

環境データ

メートル法	GRI 表示	2018 年	2019 年	2020 年	2021
スコープ1 および2 の排出量 (単位: メートルトン CO₂e)					
スコープ1 および2 の GHG 排出原単位 (単位: mT Co2e ₂ e / 100 万ドル (売上高))	305-4	52.6	49.0	47.4	43.7
2018 年 (基準値) からのスコープ1 および2 の GHG 排出原単位	305-5	-	-6.7%	-9.9%	-16.8%
スコープ1 および2 の GHG 排出総量	305-1 および 305-2	914,995	901,013	795,110	797,086
製造施設からのスコープ1 および2 の GHG 排出量		704,328	689,799	630,870	615,163
非製造施設からのスコープ1 および2 の GHG 排出量		210,667	211,214	164,240	181,923
スコープ1 および2 の地域別 GHG 排出量 (NA)		485,539	468,274	422,163	411,962
スコープ1 および2 の地域別 GHG 排出量 (LATAM)		123,112	122,823	102,389	113,298
スコープ1 および2 の地域別 GHG 排出量 (EU)		102,853	101,096	83,430	84,589
スコープ1 および2 の地域別 GHG 排出量 (MEA)		27,550	27,524	24,121	21,388
スコープ1 および2 の地域別 GHG 排出量 (中国を除く AP)		77,513	79,917	70,182	55,082

メートル法	GRI 表示	2018年	2019年	2020年	2021
スコープ1および2の地域別 GHG 排出量 (中国のみ)		98,428	101,379	92,824	110,767
スコープ1および2の事業別 GHG 排出量 (COMRES)		438,832	430,285	385,987	401,454
スコープ1および2の事業別 GHG 排出量 (AUTOSOL)		414,346	409,206	359,517	351,812
スコープ1および2の事業別 GHG 排出量 (CORP)		61,817	61,522	49,605	43,820
スコープ1の排出量 (単位: メートルトン CO₂e)					
スコープ1の排出総量	305-1	202,998	196,962	179,149	195,945
スコープ1の天然ガスによる GHG 排出量		137,182	132,252	121,970	122,511
スコープ1のプロパンによる GHG 排出量		7,020	8,452	8,803	7,281
スコープ1の固定ディーゼルによる GHG 排出量		3,585	1,008	896	862
スコープ1の残留燃料油による GHG 排出量		193	231	355	213
スコープ1の灯油による GHG 排出量		449	547	632	550
スコープ1の自動車原因による GHG 排出量		45,101	44,999	37,025	54,264
スコープ1の冷媒による GHG 排出量		9,423	9,423	9,423	10,216
スコープ1の農業副産物による GHG 排出量		45	48	44	46
スコープ2の排出量 (単位: メートルトン CO₂e)					
スコープ2の排出総量 (市場ベース)	305-2	711,997	704,052	615,961	601,141
スコープ2の排出総量 (場所ベース)	302-3	709,532	701,556	619,446	604,629
再生可能エネルギーによるスコープ2 GHG 排出量の削減 / 回避された総量	302-2	16,455	17,353	17,148	18,217

メートル法	GRI 表示	2018 年	2019 年	2020 年	2021
エネルギー (MWh)					
エネルギー消費量 (MWh)	302-4	2,282,041	2,258,512	2,039,436	2,116,917
天然ガス使用	302-1	756,886	729,686	672,959	675,944
自動車原因	302-1	78,883	78,431	62,631	113,970
固定ディーゼル使用	302-1	14,155	3,981	3,537	3,405
灯油使用	302-1	1,743	2,124	2,456	2,144
残留燃料油使用	302-1	750	899	1,379	829
農業副産物		6,469	6,890	6,337	6,590
プロパン使用		33,200	39,976	41,633	34,437
蒸気の購入	302-1	1,330	1,330	1,405	1,355
温水の購入		1,527	3,691	3,042	2,803
電気使用	302-1	1,387,097	1,391,504	1,244,057	1,275,440
オンサイトの再生可能発電		4,948	5,003	3,441	4,180
再生可能電力の契約		27,628	29,363	36,634	43,616
100% 再生可能電力の施設数		5	6	8	11
エネルギー濃度 (MWh / 100 万ドル (売上高))		131.1	122.9	121.5	116.1
2018 年を基準値としたエネルギー濃度削減	302-3	-	-6.2%	-7.3%	-11.5%

メートル法	GRI 表示	2018年	2019年	2020年	2021
スコープ3の排出量（単位: メートルトン CO₂e）					
スコープ3の排出量 - 商品やサービスおよび資本財の購入 （カテゴリ1および2）	305-3			1,675,000	2,049,500
スコープ3排出量 - 上流の燃料およびエネルギー関連活動 （カテゴリ3）	305-3			170,000	163,000
スコープ3排出量 - 上・下流の輸送および物流 （カテゴリ4および9）	305-3				803,000
スコープ3排出量 - オペレーションで生じた廃棄物（カテゴリ5）	305-3				52,100
スコープ3排出量 - 出張（カテゴリ6）	305-3				19,200
スコープ3排出量 - 従業員の通勤（カテゴリ7）	305-3				155,000
スコープ3排出量 - 販売製品の使用（カテゴリ11）	305-3				588,000,000
スコープ3排出量 - 製品寿命後の処理（カテゴリ12）	305-3				150,000
スコープ3排気量合計	305-3				591,391,800

スコープ3のカテゴリ10と15はごくわずかであり、カテゴリ13と14は該当しません。スコープ1と2の合計については、スコープ2の排出量（市場ベース）を使用して算出しました。スコープ3のカテゴリ1～3の排出量（2021年）は、前年とは異なる計算方法で算出されています。

スコープ1の冷媒によるGHG排出量

- 製造および非製造施設での漏出に対する冷媒による排出量（予測値）となり、平方フィートあたりの業界標準濃度が使用されています。非製造施設ではR134a、製造施設ではR404aが使用されている想定です。これは、Emerson拠点でのサンプリングに基づき、これらの冷媒のGWP値が高いためです。

スコープ1の自動車原因によるGHG排出量

- 製造作業用の車両で消費される燃料からの排出量になります（フォークリフト、軽量トラックなど）。

スコープ2の排出総量（市場ベース）

- 市場ベースの排出量には、サプライヤ排出係数、純残留要因、再生可能エネルギーの購入が含まれます。
- 場所ベースの排出量には、グリッド電気放射係数の平均値に購入電力総量を乗じたものを含まれます。

2045年ネットゼロ排出目標や2030年短期目標に関連するEmersonの排出量削減目標では、2021年のデータが基準値として使用されています。EmersonではWSPと連携して、スコープ1および2の温室効果ガス（GHG）リスト集の開発をサポートしたり、GHGプロトコル（GHGP）やScience Based Targets イニシアティブ（SBTi）基準への準拠が必要なスコープ3のGHG計算で手引きやレビューを行ったりしています。WSPは、専門的サービスを提供する大手コンサルタント会社です。この会社が有する多岐の専門分野にわたるSECC（サステナビリティ、エネルギー、気候変動）チームは、20年間にわたり、温室効果ガス管理、気候変動への強靭性、持続可能なサプライチェーン、数多くの関連規制の部門におけるクライアントにサポートを提供してきました。



ポ
ート
につ
いて
本

本レポートについて

2021年環境・社会・ガバナンスに関する
レポートでは、主に2021暦年またはEmersonの
2021年度（2020年10月～2021年9月）に
収集されたデータや行われた活動を
中心とした情報が紹介されています。

2021年、当社は、業界大手のオペレーションテクノロジーソフトウェアプロバイダーOSIを買収して、オートメーションソリューションのソフトウェアポートフォリオを拡充し、世界中の電力業界や他の末端市場のお客様に対しても、オペレーションの変革やデジタル化のサポートを拡充して、再生可能エネルギー源をよりシームレスに取り入れたり、エネルギー効率や信頼性を向上させたりできるようになりました。

2022年5月、Emersonの産業用ソフトウェア企業（OSI Inc. と Geological Simulation Software）と Aspen Technology, Inc. との提携が成功裏に完了し、グローバルな産業用ソフトウェアのリーダー（「新しいAspenTech」）が誕生しました。

取引の終了に伴い、Emersonは完全希薄化ベースで新しいAspenTechの55%を所有し、AspenTechの利害関係者は残りの45%を所有することになりました。

提示されているデータに廃止したビジネスが含まれているかどうかは、必要に応じて表示されます。

本レポートに記載されている特定のデータ、統計値、指標は、GHG排出量関連のものを含め、予測値となります。

一般的に認められている会計原則に従って用意されたものではなく、独立したサードパーティによる保証を約束するためのレビューも行われていません。この情報は、確立した方法や仮定に基づくもので、作成の時点で妥当と判断されているものですが、保証を約束するものではなく、今後の改訂の対象になる場合もあります。

本レポートでは、GRIなどの用語を「重要な」「実質的な」「重大な」と称するなど、当社が特定の用語を使用して、当社やさまざまな利害関係者にとって重要な問題や優先順位をはじめ、GRIや他の適用可能な標準に対応するトピックまたは標準を印象付けてしまう可能性があります。本レポートで使用されているこれらの用語は、証券取引法や米国または他の管轄区域の法律で定義されている、またはそれらに従って解釈されているように、あるいはこれらの用語が財務諸表および財務報告のコンテキストで使用されているように使用したり、意図的に解釈したりするものではありません。本レポートは包括的なものではなく、Form 10-Kや他のSEC文書の年次報告書と併せてお読みいただく必要があります。

本レポートは毎年更新される予定です。しかし、当社では、後の開発を反映するために、ここに記載されている記述を更新する義務を負いません。

本レポートに関する
質問やコメントは、
最高サステナビリティ責任者
(8000 West Florissant Avenue,
St. Louis, MO 63136
+1-314-553-2000) まで直接
お問い合わせください。

本レポートについて（続き）

セーフハーバー条項

本レポートには、将来を考慮した記述が数多く含まれ、Emerson のオペレーション、将来的な結果、見込みに関する想定も記載されています。こうした記述は、現在の予測に基づくものなので、リスクや不安定性も含まれます。Emerson では、後の開発を反映するためにここに記載されている記述を更新する義務を負いません。1995年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に関連して、Emerson が明示する重要な経済的、政治的、技術的要因に関する注意事項は、下記をご覧ください。特に、変更においては、実際にもたらされる結果や事象が、記載内容をはじめ、将来を考慮した記述や関連の想定により示された内容から著しく異ってしまう場合があります。要因は次の通りとなりますが、これらに限定されません：(1) 設備投資や個人消費、サービス提供している末端市場の潜在的な不安定性、金利、通貨為替レートなどにおける現在および将来のビジネス環境、(2) Emerson のイニシアティブに対する競争的要因や競合の反応、(3) 今後の新製品に関する開発や市場参入、(4) 知的所有権を防御および保護する能力、

(5) 国内外での規制上の要件や対象の市場価格など、買収や売却の実施において良好な環境、(6) 買収による統合や事業整理による分割、(7) 原料や購入コンポーネントの入手可能性、(8) 為替レートの逆転、法規制の変更、関税障害や貿易障害、施設の国有化やオペレーションの中断など、事業を行っている国の政府や景気の安定性、

(9) 資本市場での無制限化、(10) 主要人員を招致したり、能力開発したり、雇用を維持したりする当社の能力、(11) セキュリティー違反や情報テクノロジーシステムの中断に対する防御力、(12) 潜在的な不良製品による影響、もしくは製品の欠陥、サイバーセキュリティインシデント、他の国際的な活動がもたらす同様の事象、(13) 世界経済やお客様にもたらされる COVID-19 のパンデミック（同様に石油やガス価格の下落や変動）の範囲的、期間的、最終的な影響 (14) 税率や法規制の変更、米国および米国外の管轄区域での税務争議、(15) 従業員、エージェント、ビジネスパートナーによる

不当行為の影響、(16) 環境コンプライアンスなど、係争中または将来の訴訟の結果、(17) 商取引上の合理的な範囲での再生可能エネルギーの入手可能性、(18) ロシア・ウクライナ紛争に関して、特に Form 10-K の最新の Emerson 年次報告書および米国証券取引委員会に提出された追加報告に記載されている内容前向きな目的、理由、価値観、関連するコミットメントや目標に関する本レポートの記述には、サステナビリティ、温室効果ガス排出量、ネットゼロ排出目標や関連する目標、「ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン」のイニシアティブなど、将来を考慮した内容が含まれますが、同時に、1995年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の保護が適用されるように意図されています。こうした記述は、Emerson が利害関係者のさまざまな需要に適応したり、対処したりできるようにすることを目的としています。これらの分野での成功は、経済上の要因と規制上の要因の競合、テクノロジーの進歩、政策の変更、労働市場、対象の入手可能性、サプライヤやお客様のエンゲージメントなど、他者との集団的な取り組みをはじめとする要因に依存するため、実際の成果が、目的としたものや予測していたものと異なってしまう場合があります。当社は、目的を持って取り組みを行い、社会に良い影響をもたらすことを目指しながら、コミットメントに向かって常に進歩しています。しかし、困難により進捗が遅れたり止まってしまったりする可能性もあるため、こうした記述を反映した結果をはじめ、記述により示唆された結果の実現や達成を約束することができないのです。